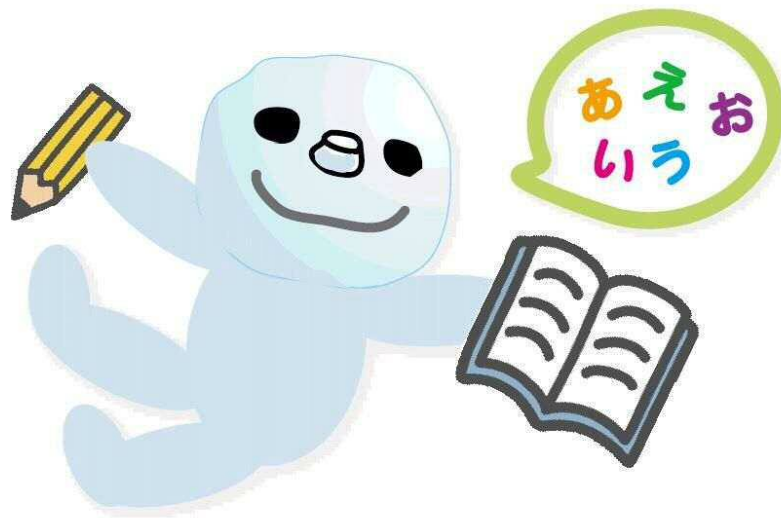


京都市における kokoka 日本語教育推進事業

# 日本語学習に関するアンケート 報告書



マスコットキャラクター

kokoka

**kokoka**

公益財団法人 京都市国際交流協会

文化庁 令和2年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用



## 「日本語学習に関するアンケート」

### <目次>

<b>1. 集計概要</b>	P. 1
<b>2. 企業・団体向けアンケート</b>	
回答者の概要に関する状況	P. 2
雇用に関する設問（問１～２）	P. 4
従業員の日本語に関する設問（問３～８）	P. 8
雇用に対する心配や懸念に関する設問（問９～１０）	P. 13
外国人を雇用している企業への設問（問１１～１５）	P. 16
クロス集計及び考察（業種別）	
雇用形態	P. 22
従業員の日本語レベル	P. 23
外国人従業員を雇用するにあたっての心配や懸念	P. 27
<b>3. 外国籍住民向けアンケート</b>	
回答者の概要に関する設問（問１～６）	P. 29
日本語学習に関する設問（問７～１６）	P. 33
生活に関連する設問（問１７～２２）	P. 39
クロス集計及び考察（アンケート言語、在留資格、日本語レベル）	
日本語の学習ニーズ	P. 43
困ったときの相談者	P. 49
日本文化と社会に関する学習ニーズ	P. 53
<b>4. 参考（設問シート）</b>	

## 1. 集計概要

アンケート名：「日本語学習に関するアンケート」

概要・目的：

「京都市における kokoka 日本語教育推進事業」（予定：2020年度～2024年度）を通して、「生活者としての外国人」に対する日本語教育環境の充実や学習支援に携わる人材育成を進めるための基礎調査として実施。

外国人従業員を雇用する企業・団体及び外国籍住民から、それぞれの立場、視点で日本語学習についてのニーズや実情を聞き取り、今後の取り組みに反映するためのアンケートとした。

対象：

- 1 外国人従業員を雇用する企業・団体
- 2 外国籍住民

実施期間：2020年12月1日～2021年1月12日

周知方法：広報物の郵送及びオンラインによる周知

回答方法：Google フォームを利用した、オンライン回答

言語：

- 1 日本語
- 2 日本語、英語、中国語、ベトナム語

### 注) カテゴリーについて

クロス集計の部分では、回答者を3つのカテゴリーに分類

- ・中国語圏 → 中国、台湾、香港、マカオの回答者
- ・ベトナム語 → ベトナム人回答者
- ・英語＋その他 → 中国語圏、ベトナム語に当てはまらない回答者

回収数：

- 1 101社（京都市内69件、府下20件、その他12件）
- 2 684人

日本語版	英語版	中国語版	ベトナム語版
296人	122人	90人	176人

実施主体：公益財団法人 京都市国際交流協会

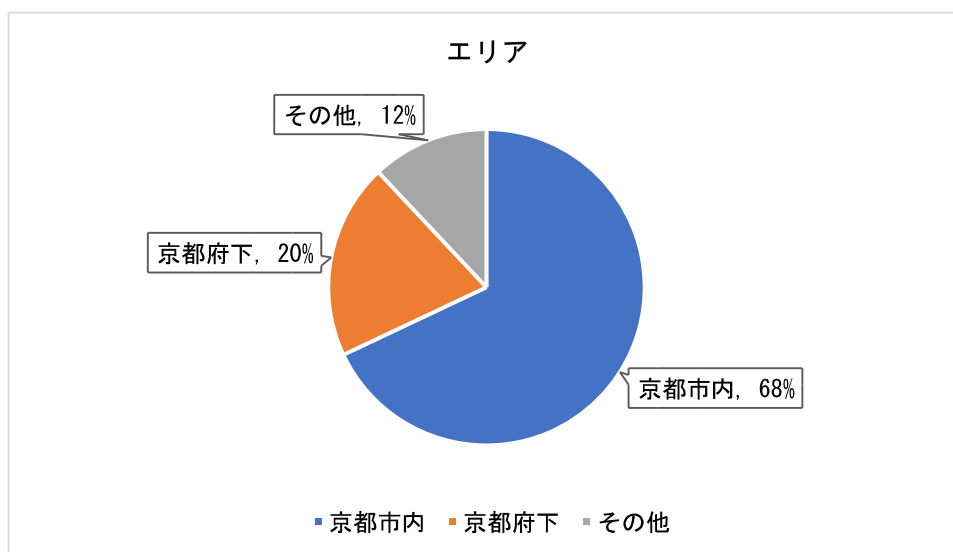
協力：生田グローバル株式会社

## 2. 企業・団体向けアンケート

### ■ 回答者の概要に関する状況

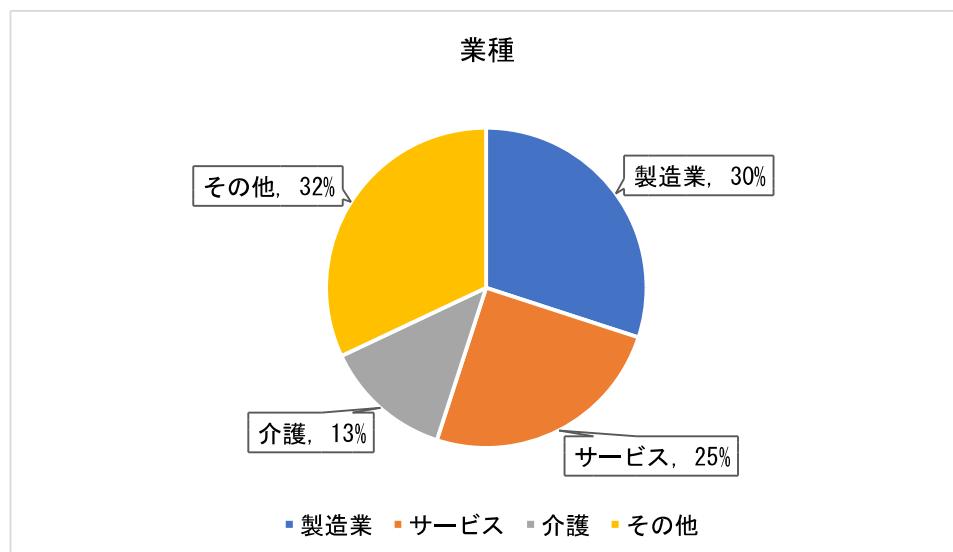
#### エリア

今回のアンケート調査に協力した企業・団体の所在エリアは近畿地方を中心に、京都市内（68%）と京都府下（20%）を合わせると 88%を占めている。その他（12%、12 件）：近畿地方を中心に、大阪府、滋賀県、奈良県、神戸市、岡山県、東京都など。



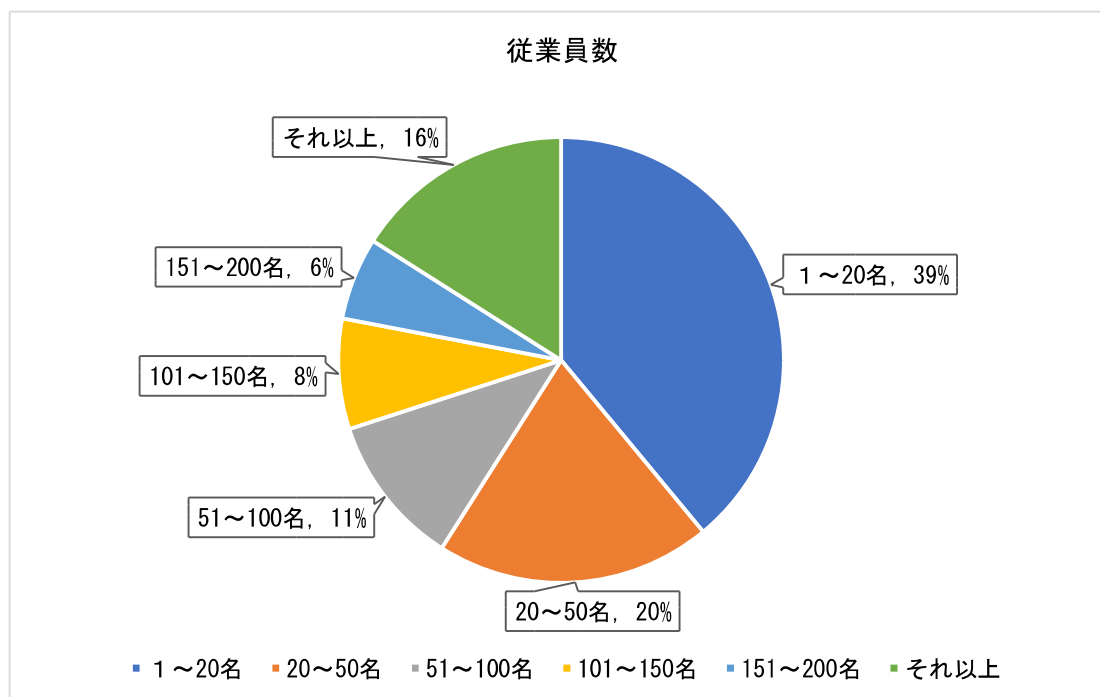
#### 業種

業種に関しては、1 位はサービス業（25%）、2 位介護（13%）、製造業全般（合算 30%）。その他（32%）：教育、投資、IT、卸売、不動産、矯正歯科など。



## 従業員数

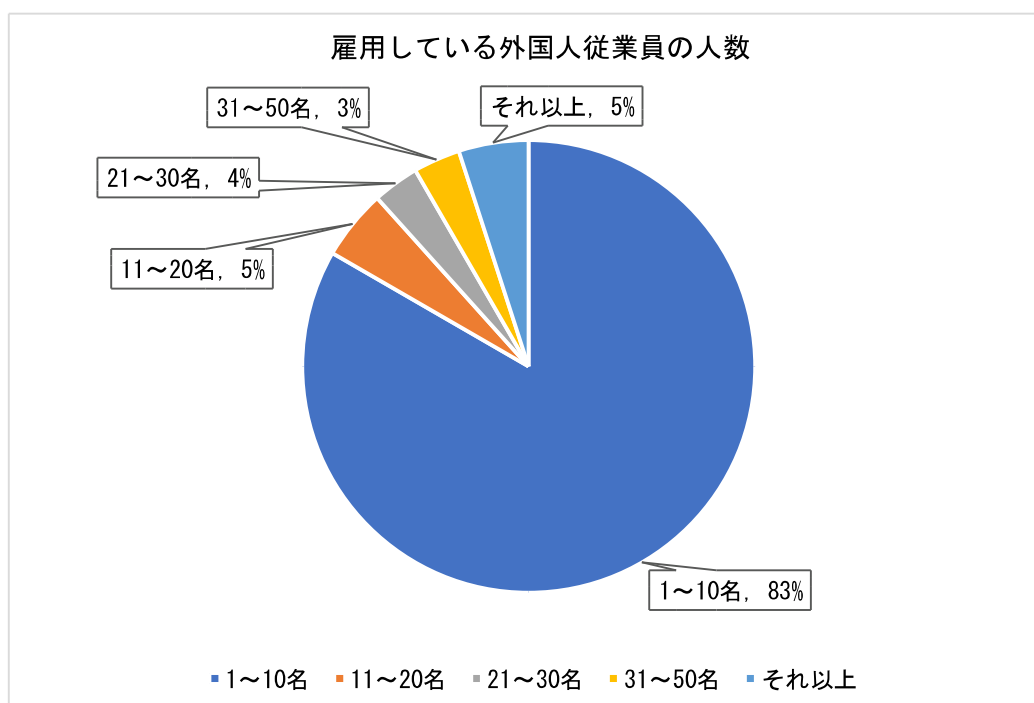
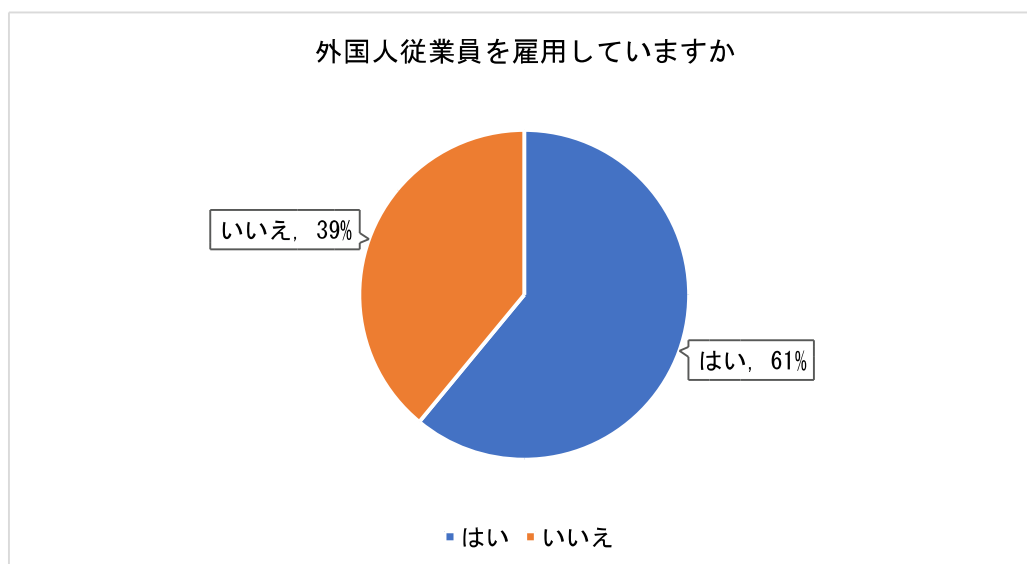
1-20 名の企業・団体が最多で、約全体の 4 割を占めている。20-50 名以下は 20%、50-100 名以下の企業は 11%。従業員数 100 人以下の中小企業が回答の 7 割を占め、最も多い回答事業者となった。



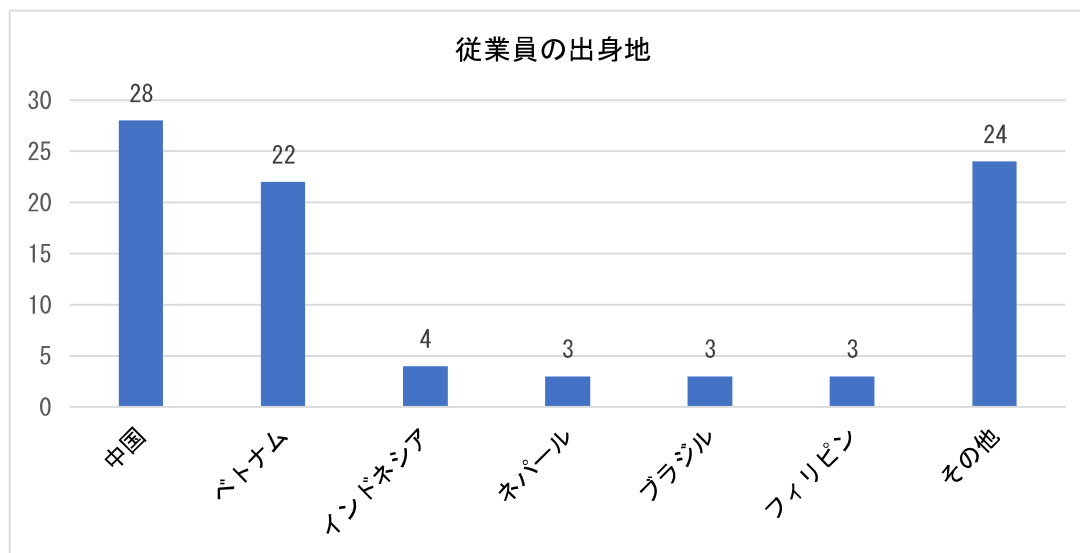
## ■ 雇用に関する設問（問１～２）

### 問１：現在、外国人従業員を雇用していますか

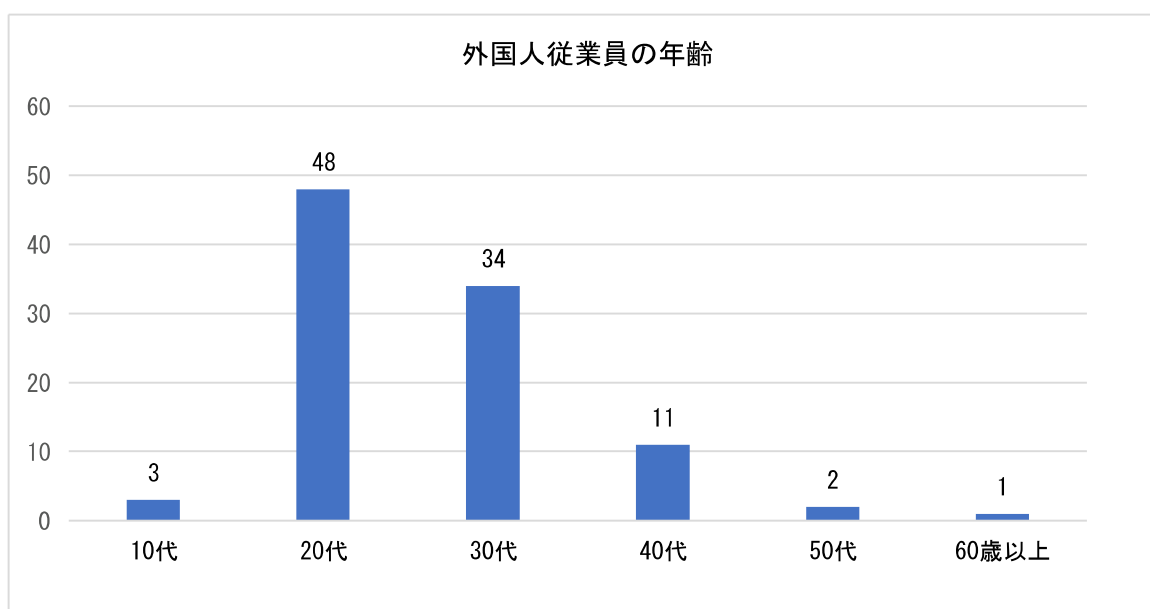
現在、外国人を雇用している企業は67社で、約6割を占める。うち、外国人従業員が10名以下の企業が83%を占めている。



従業員の出身国は、中国(28 社、31%)とベトナム(22 社、19%)を合わせると 5 割を占める。

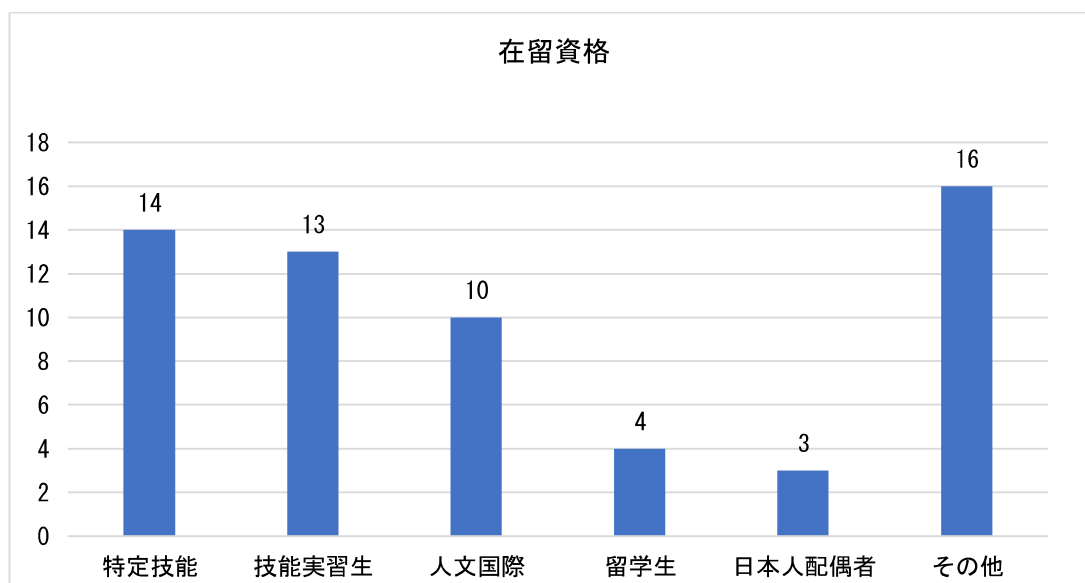


従業員の年代は(複数回答可)、20代が最も多く(48 社)。次に、30代(34 社)、40代(11 社)が続く。

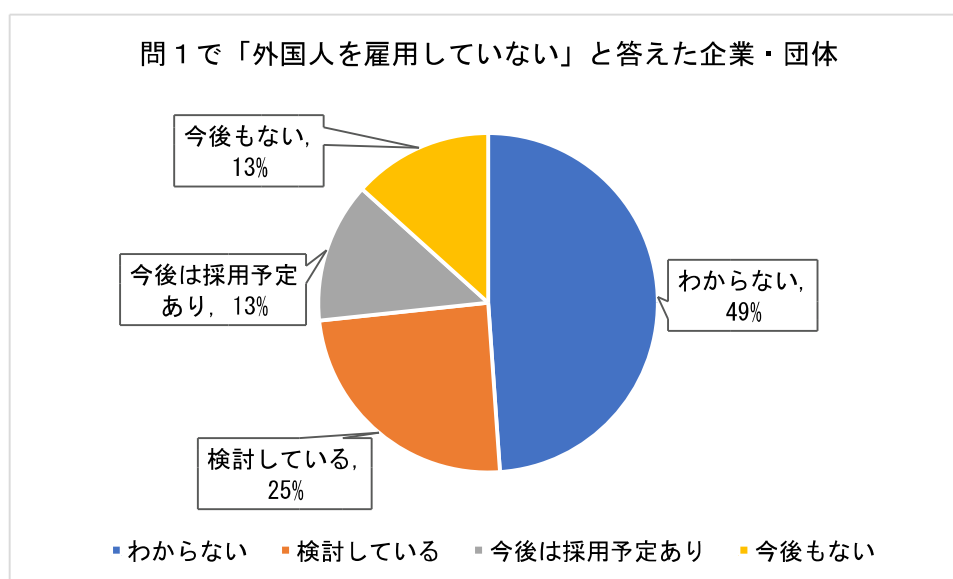


在留資格に関して、最多の「技能実習生」（14 社）、と二番目に多い「特定技能」（13 社）を合わせると全体の 4 割を超えている。「技術・人文国際・国際業務」と回答したのは 10 社。留学生と回答のあった 4 社の雇用業態はアルバイトであると思われる。

（その他：「就労」、「留学生」、「家族滞在（資格外活動）」、「海外にいる役員」など）



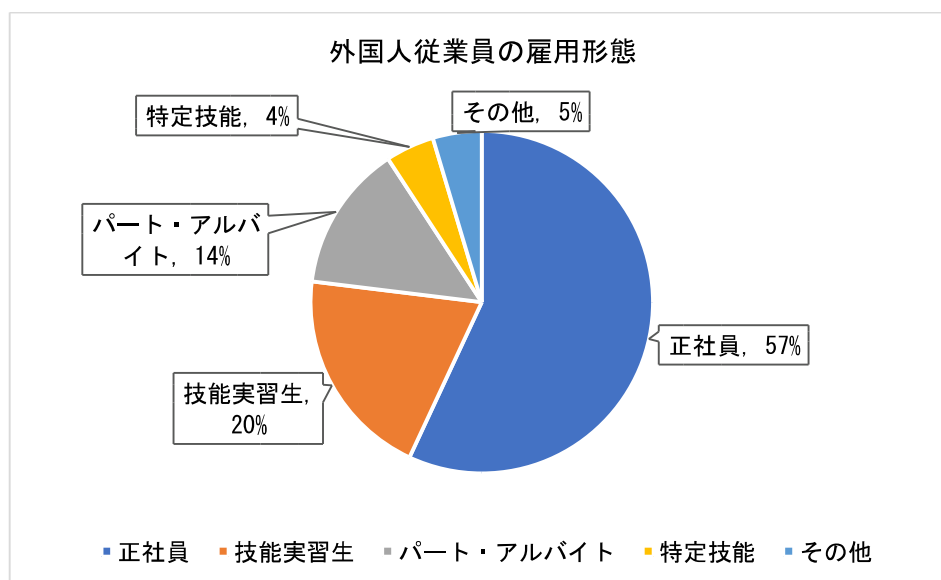
問 1 で外国人の雇用の有無について「雇用していない」と回答した 42 社（39%）のうち、「これから採用する」と「検討している」企業を合わせると 4 割を占める。





## 問２：外国人従業員の雇用形態

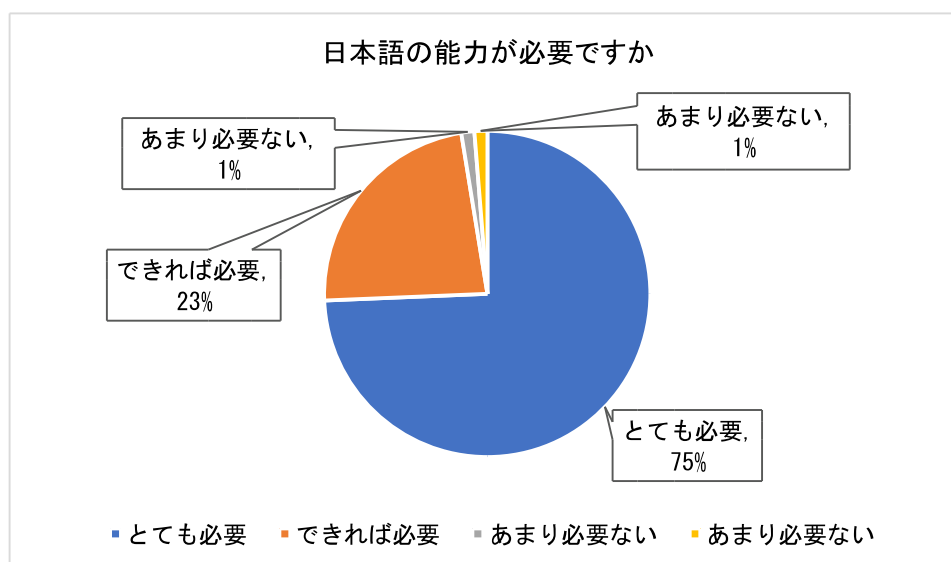
「正社員」が 57%で、過半数を占めている。「技能実習生」（20%）、「パート・アルバイト」（14%）が続ки、全体の 9 割以上を占めている。



## ■ 従業員の日本語に関する設問（問3～8）

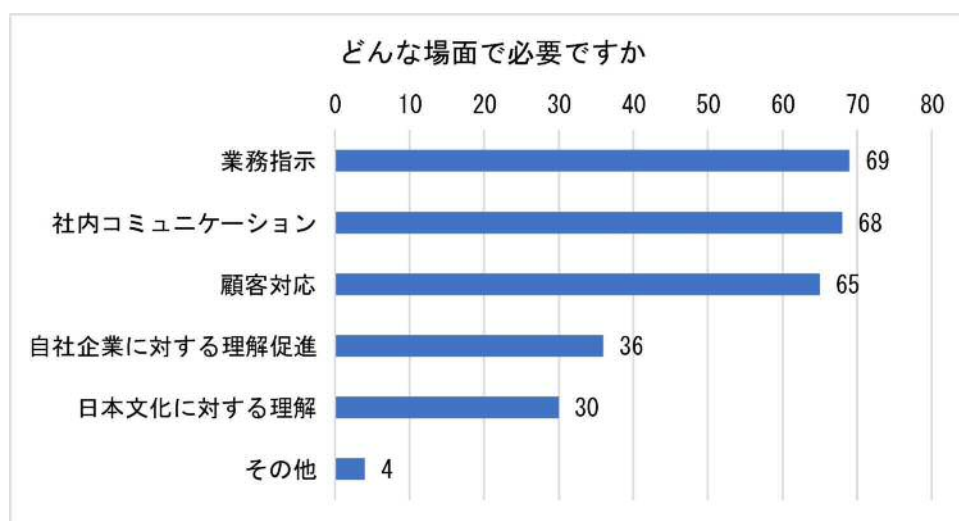
### 問3：業務上、日本語能力は必要ですか

「とても必要」（75%）、「できれば必要」（23%）、を合計すると 98%以上となり、このデータからは、ほぼすべての企業・団体が、外国人が日本で働くためには日本語能力が必要だと考えることがわかる。



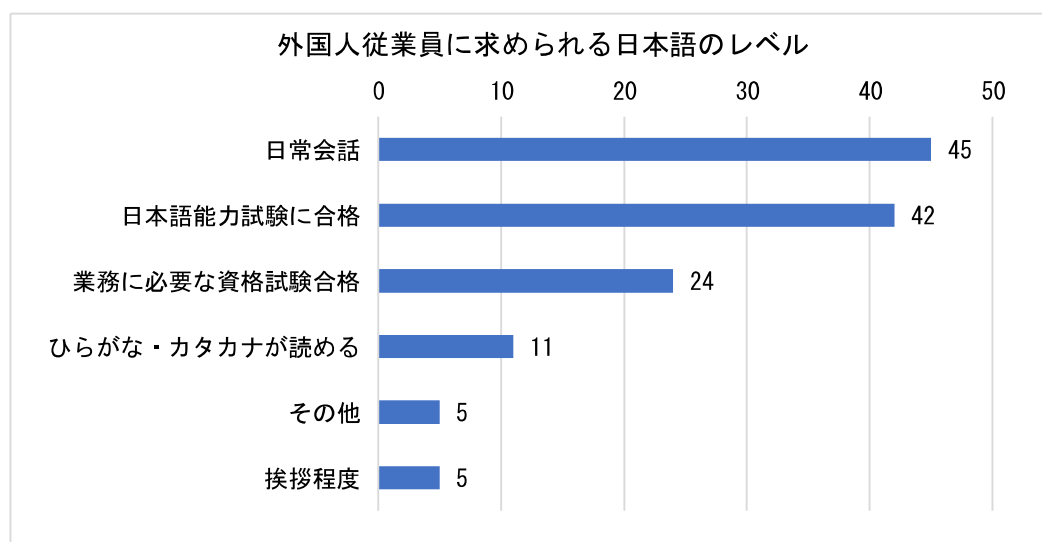
### 問4：どんな場面で必要ですか（複数選択可）

圧倒的に多いのは「業務指示」（69社）、「社内コミュニケーション」（68社）、「顧客対応」（65社）の3項目。次に「自社企業に対する理解促進」（36社）、「日本文化に対する理解」（30社）が続く。これらは、「業務上の必要性」と「文化的理解」の2つに分けることができ、雇用側は、従業員の日本語を業務上必要だと考えている。



### 問5：外国人従業員に求められる日本語のレベル（複数選択可）

「挨拶」や「ひらがな・カタカナが読める」は低く、「日常会話」、「日本語能力試験合格」、「必要な資格試験に合格」という3つの項目が高い。雇用側が、一定のレベルを求めていることがわかる。



### 問6：外国人従業員を担当する部署または役職

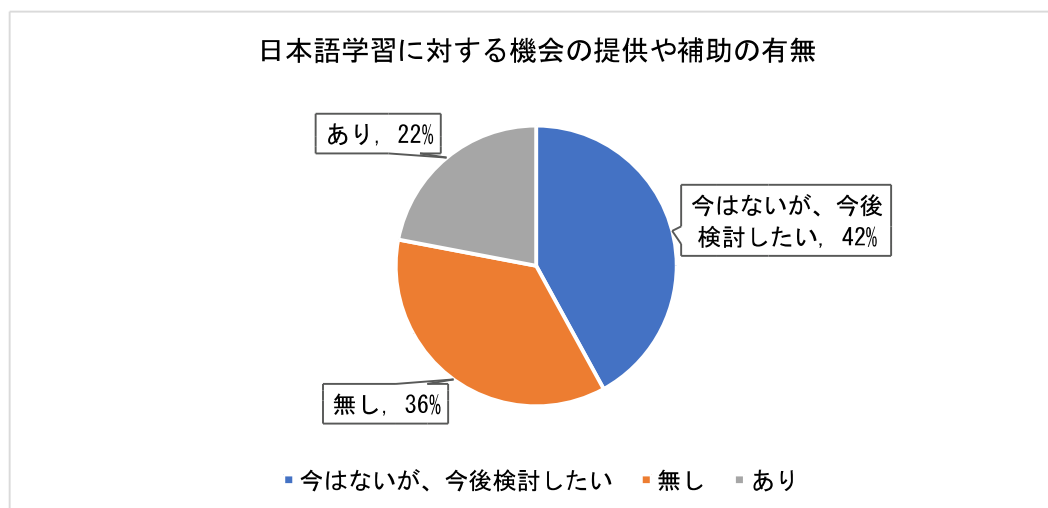
部署又は役職については、「あり」（42％）に対し、「なし」（58％）であった。

「あり」と回答した項目は以下通り。（重複した役職は削除）

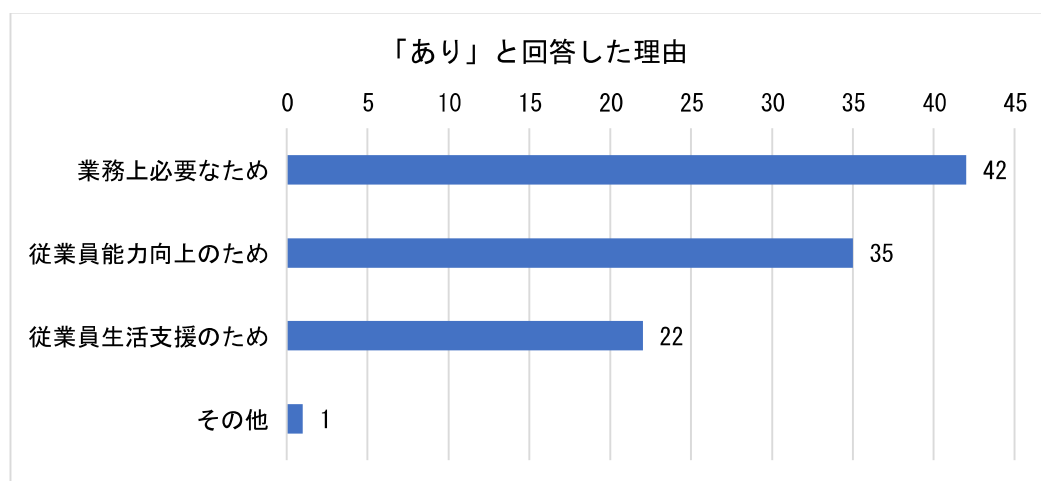
項目			
介護部 介護副主任	生活支援部長	人事総務部長	設計部
技能実習生指導者	グループリーダー	生産管理部 課長	営業
プリント課、ポストプリント課	管理部	事業課	文化事業部
外国人統括マネージャ	サービススタッフ	国際営業部	リーダー

### 問7：外国人従業員の日本語学習に対する機会の提供や補助の有無

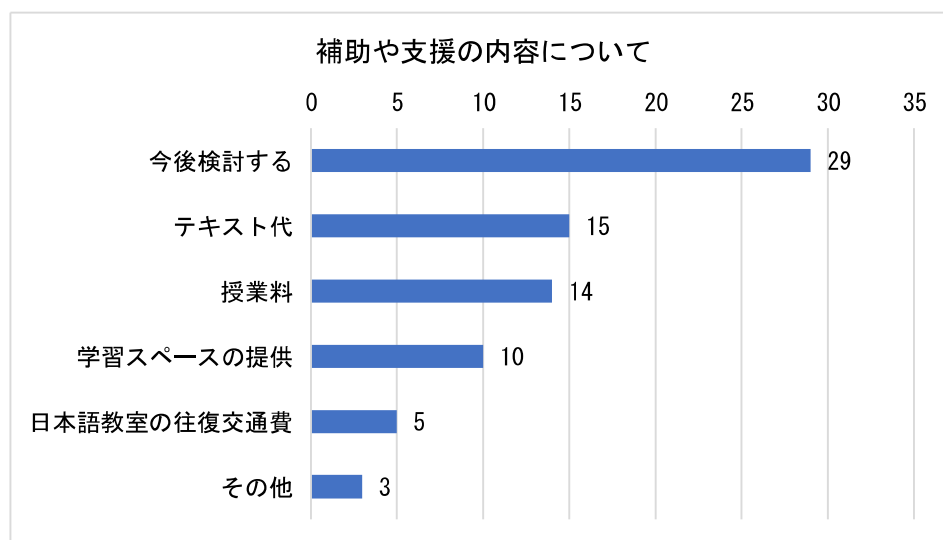
「あり」（22%）、「今はないが、今後検討したい」（42%）、「なし」（36%）となった。現状では機会や補助の導入は多くないものの、「今はないが今後検討したい」を入れると6割以上が前向きに捉えていることが分かる。



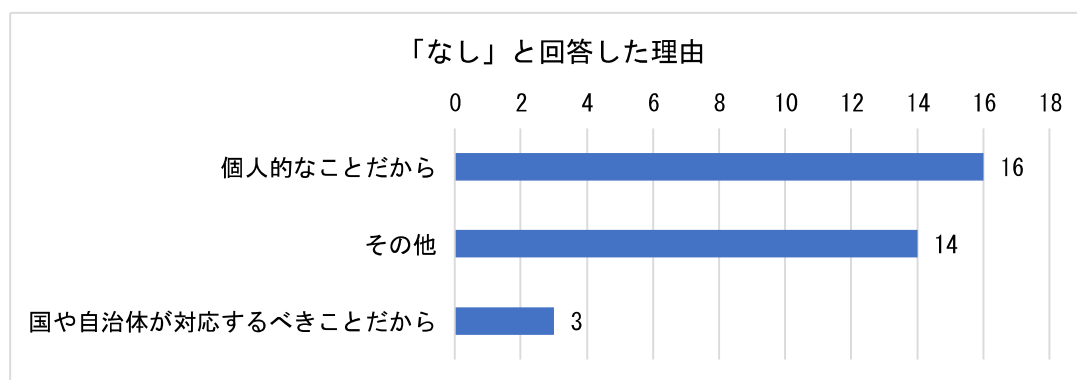
「あり」と回答した企業数は2割程度。理由：「業務上必要なため」（42社）、「従業員能力向上のため」（35社）、「従業員生活支援のため」（22社）。



「ある」、「今はないが今後検討する」を選んだ企業・団体が考える支援の内容については、「テキスト代」（15社）、「授業料」（14社）など、費用面の支援に関する回答が多かった。

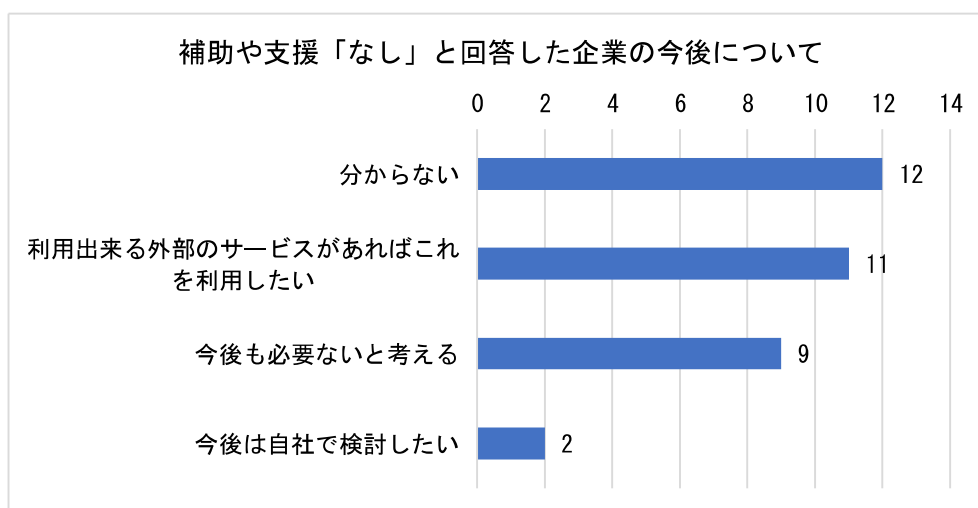


一方で、補助や支援「なし」の回答理由は、「個人的なことだから」（16社）とした企業・団体が最も多い。「その他」の回答からは、一定の日本語能力がなければ採用しないという意見が多く見られた。



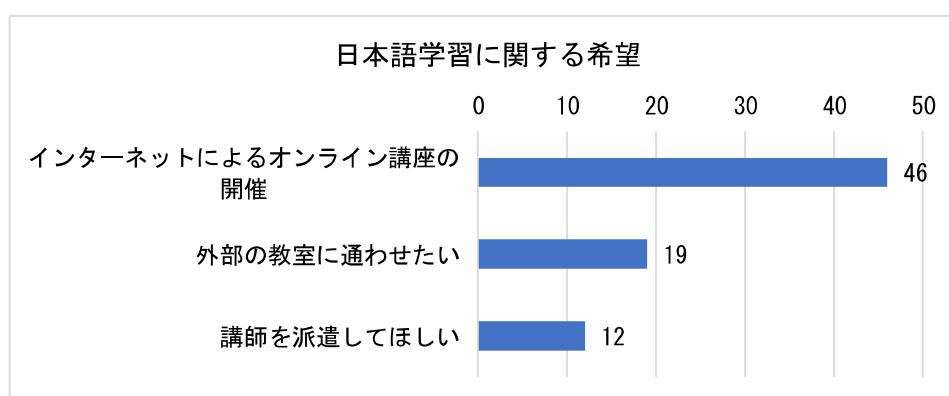
その他（一部抜粋）
日本語が堪能な人しか雇用しないから
既に仕事でつかえる日本語を身に着けている人ばかりだから
業務（技術）を覚えてもらう事が最優先だから
ある程度日本語を話せる従業員を採用しているため
社内で学習援助をする余裕はないので、採用段階で一定のレベル以上の人を選んでいた

支援や補助について「なし」と回答した企業・団体は今後について「わからない」（12 社）という回答が最多であった。組織内で方針が協議されていないあるいは十分に共有されていない可能性がある。



#### 問 8：日本語学習に関する希望（複数選択可）

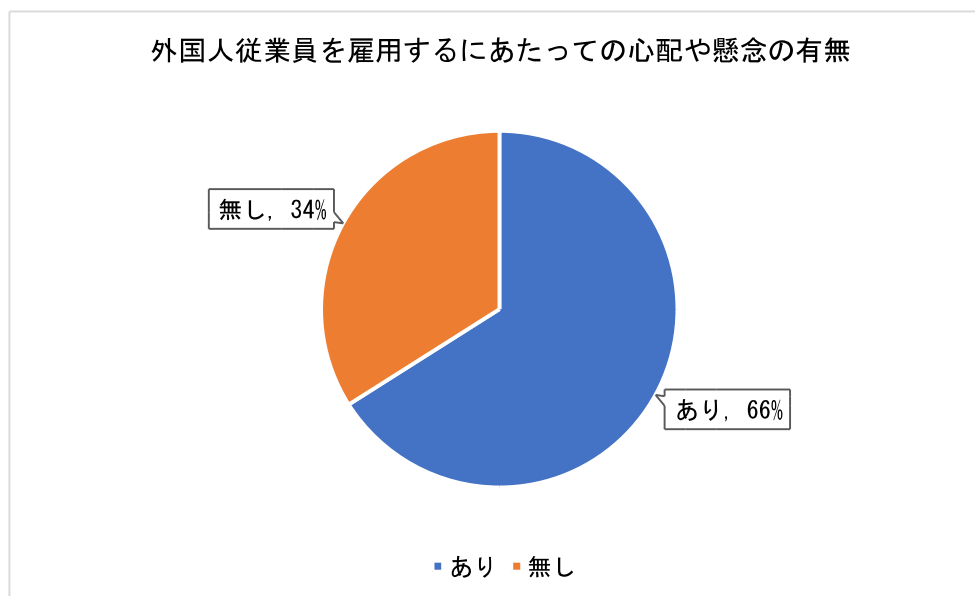
「インターネットによるオンライン講座の開催」（46 社）が最多。「外部の教室に通わせたい」（19 社）、「講師を派遣してほしい」（12 社）が続く。コロナ禍におけるオンライン普及が見える回答となった。



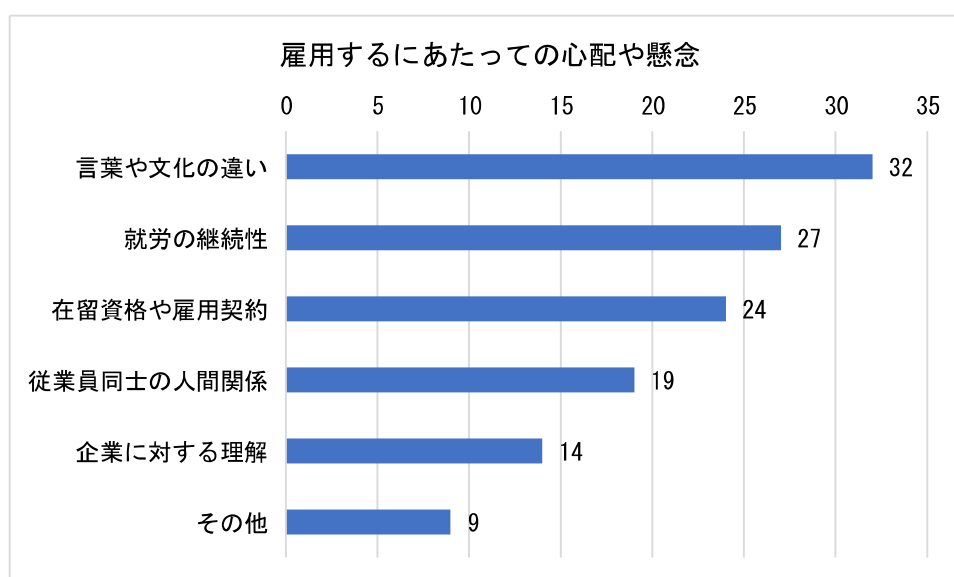
## ■ 雇用に対する心配や懸念に関する設問（問9～10）

### 問9：外国人従業員を雇用するにあたっての心配や懸念の有無

外国人従業員を雇用するにあたっての心配や懸念について、「あり」と回答した企業は66%。



最多は「言葉や文化の違い」（32社）。以下は「就労の継続性」（27社）、「在留資格や雇用契約」（24社）、「従業員同士の人間関係」（19社）、「企業に対する理解」（14社）となった。（複数選択可）



その他の詳細：

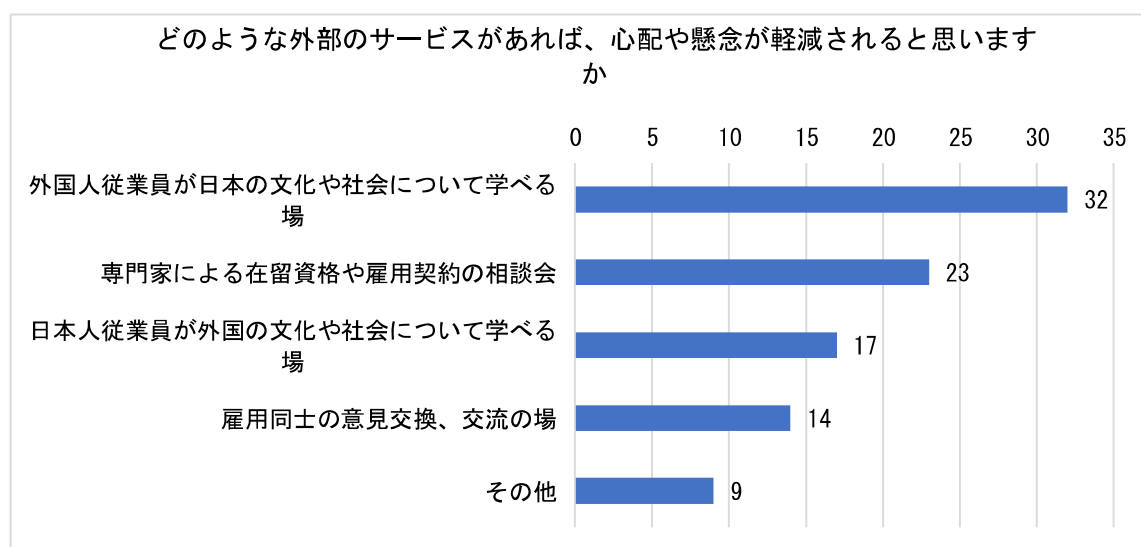
No	内容
1	不法滞在のリスク
2	雇用に関する諸経費等
3	近隣トラブル
4	交通事故など生活全般
5	京都にご宿泊者されるお客様への接客に対しては心配だが、バックヤードでの雇用は特に懸念していない
6	外国人による犯罪の懸念
7	カントリーリスク
8	在留資格を得ることを目的とした就職があり、採用してもすぐに辞める者がいること
9	お客様との日本語でのコミュニケーション



**問 10: どのような外部のサービスがあれば、心配や懸念が軽減されると思いますか（複数選択可）**

最多の回答は、「外国人従業員が日本文化や社会について学べる場」（32 社）。以下は「専門家による在留資格や雇用契約の相談会」（23 社）、「日本人従業員が外国の文化や言葉を学ぶ場」（17 社）、「雇用者同士の意見交換、交流の場」（14 社）が続く。

企業・団体から見て、「企業文化」、「日本語によるコミュニケーション力」が外国人従業員にとっては不可欠だと考えていることが分かる。



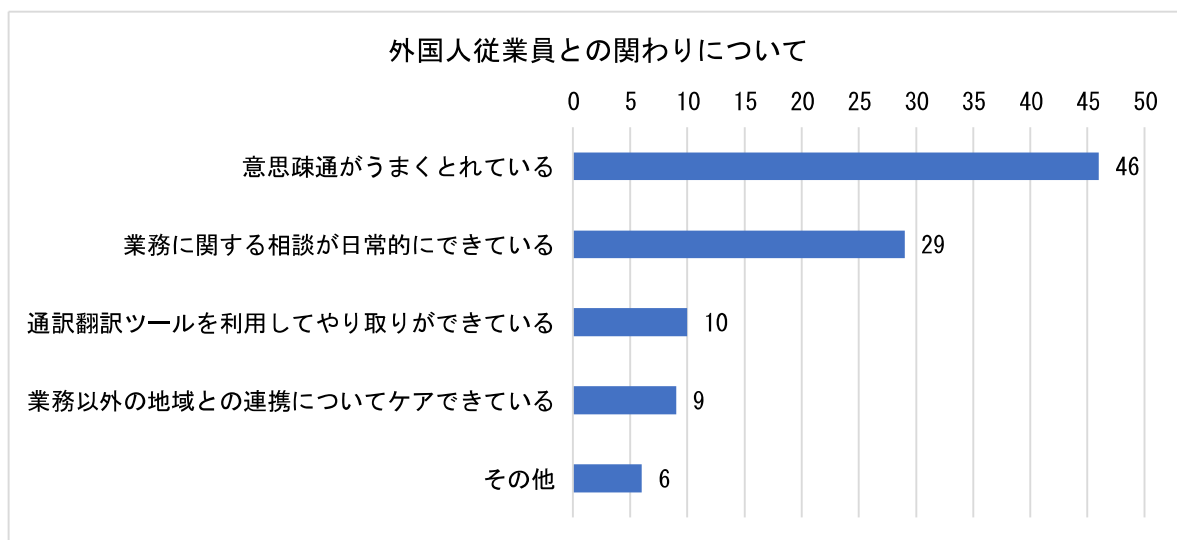
その他の詳細：

No	内容（重複、類似内容は削除）
1	各都道府県での資格取得専門学校の充実及びその専門学校からの就職支援
2	カントリーリスクが無い国籍であれば問題はない
3	日本人と同等に意思疎通が出来るのであれば検討の余地はあると思います
4	雇用や従業員や留学生に対してというよりも、ご宿泊者が持つ京都の宿への期待がある以上難しい
5	定期的に外国人従業員、日本人従業員、会社の人々、周囲の方たちなどが参加して交流会などをすればいいと思う。まずはお互いのことを知ることが大事だと思う
6	肩書は外国人実習生なので3年たてば帰国するのではと不安です
7	サービスって意味では、在留資格に関する知識を広める取組みは要りますが、外国人在留資格があまりにも煩雑なので、現場の意見を取り入れた形で、労働局と入国管理局の協同した改善が必要だと考えます
8	同じ国籍の人同士のつながりを持てる場所

## ■ 外国人を雇用している企業への質問(問 1 1 ～ 1 5)

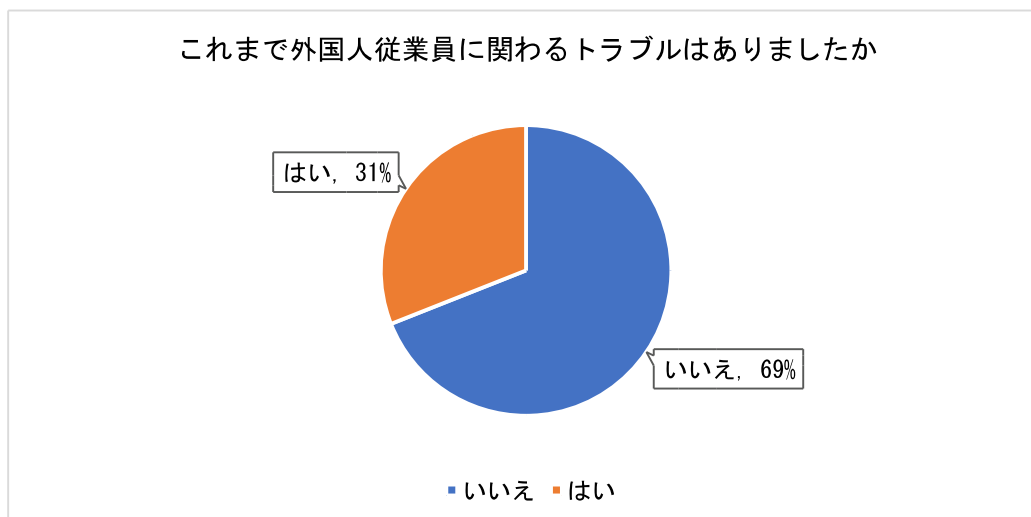
### 問 11：外国人従業員との関わりについて（複数選択可）

「意思疎通が上手くとれている」（46 社、74.2%）、「業務に関する相談が日常的にできている」（29 社、46.8%）、「通訳ツールを利用してやり取りができている」（10 社、46.8%）があった。通訳ツールを利用する場合、主に使っているツールは「Google 通訳アプリ」、「Rion」、「ポケットク」、「ケアカルテ」、「社内作成する通訳カード」との回答が得られた。

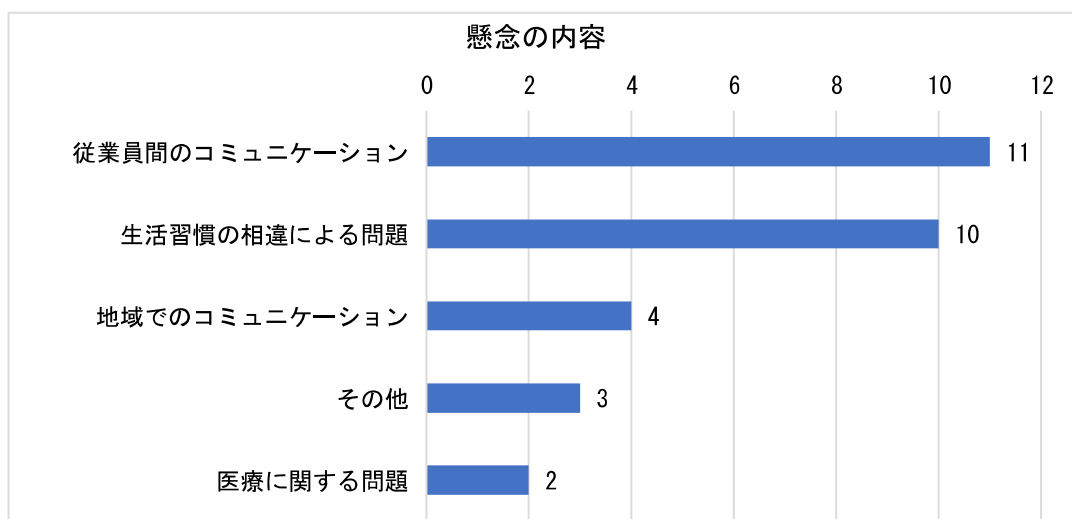


**問 12：これまで外国人従業員に関わるトラブルはありましたか**

回答として、「はい」が（31%）、「いいえ」が（69%）との結果が得られた。



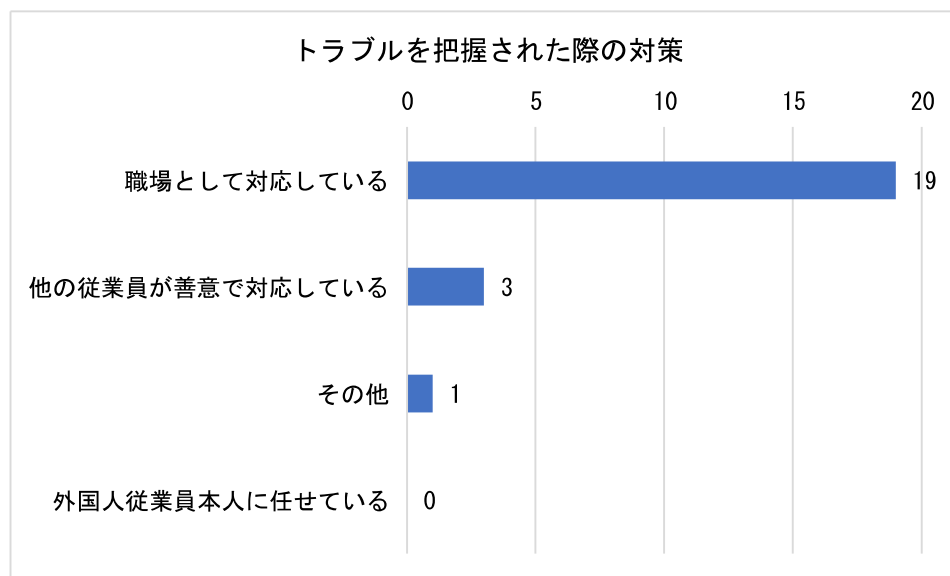
「トラブルがあった」の詳細を見ると、「従業員間のコミュニケーション」（11 社、57.9%）、「生活習慣の相違による問題」（10 社、52.6%）となっており、コミュニケーションと文化の相違によるトラブルが多いことが分かる。（複数選択可）



その他詳細：

No	内容
1	賞与についてとプライベート部分
2	騒音問題、ゴミ出しルール、自転車通勤ルール
3	他の会社からの引き抜きにあい、突然いなくなった。

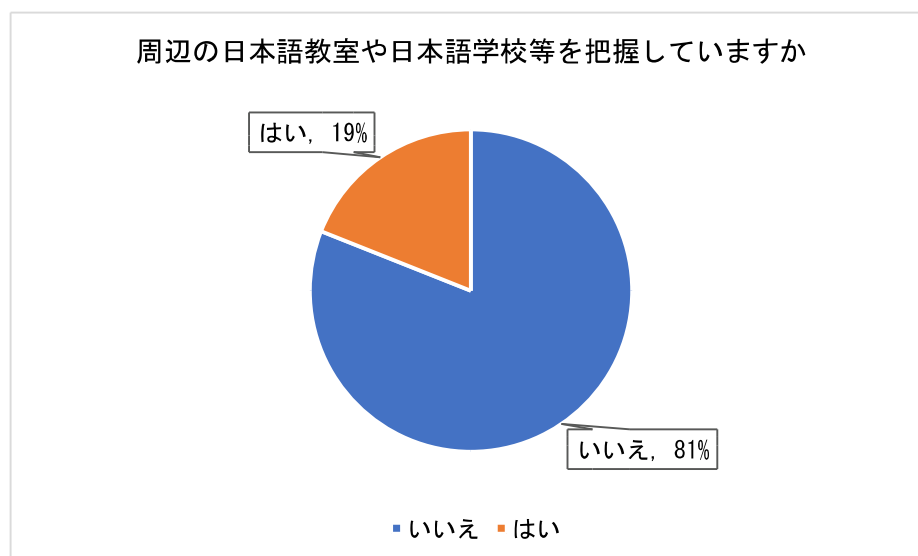
トラブルを把握した際の対策については、ほぼ全ての企業・団体は「職場として対応している」を回答しており、組織として解決にあたっていることが見える。



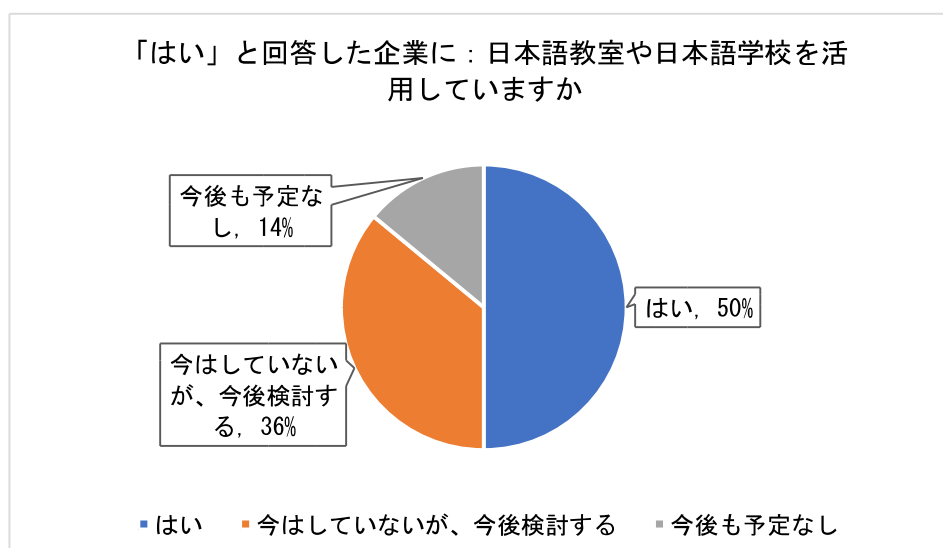
その他詳細：

No	内容
1	実習生監理団体の協力

問 13：日本語の学習機会として周辺の日本語教室や日本語学校等を把握していますか



周辺の日本語教室や日本語学校の把握の有無について、「いいえ」（80.6%）、「はい」（19.4%）の回答が得られた。8 割の企業が、周辺の日本語教室を把握していない。また、「はい」と回答した企業・団体への「日本語教室の活用」についての設問への回答は、「はい」（50%）、「今はしていないが、今後検討する」（36%）、「今後も予定無し」（14%）であった。



問 14：外国人従業員に対して必要と思われる支援があれば、ご記入ください（自由記述）

計 33 件の回答があり、内容は以下の通り。（重複した内容は削除）

No	内容
1	日本における生活支援
2	日本語検定合格の為の支援、テキストの無料配布。監理組合の高すぎる費用から入国時にN4、N3のテキストを無料でくばってほしい
3	国の法制度改善
4	税金や社会保障専門相談
5	日本人従業員が英語や他の言語でコミュニケーションができるように教育された方が良い
6	日本の企業のルールを教える
7	子育て支援
8	業務外日常生活における外国人居住者向けの相談窓口
9	在留資格延長のサポート
10	外国人同士の研修会
11	医療機関へ行く際の通訳、生活全般の相談窓口
12	ベトナム人向けの日本語教室があれば教えて下さい
13	無償で受けられる若しくは訓練校で受けられる日本語の講習。補助金制度
14	会社が対応しきれない領域の私生活に関する支援
15	監理団体と協力して、できるだけの支援を行ってありました
16	職場でのハラスメントの相談が必要だと思います
17	ビジネスマナーに関する教育
18	介護に関する専門用語等の教育
19	外国人同士のネットワーク
20	国からの補助金
21	弊社としては、社内のグローバル化が一番課題となる。異文化理解、多数言語、外国籍社員が能力をもっと発揮できるような環境が必要
22	日本社会への理解促進イベント開催（もっと面白く参加しやく）

問 15：外国人と一緒に働くことについて、気になることがあれば、お聞かせください

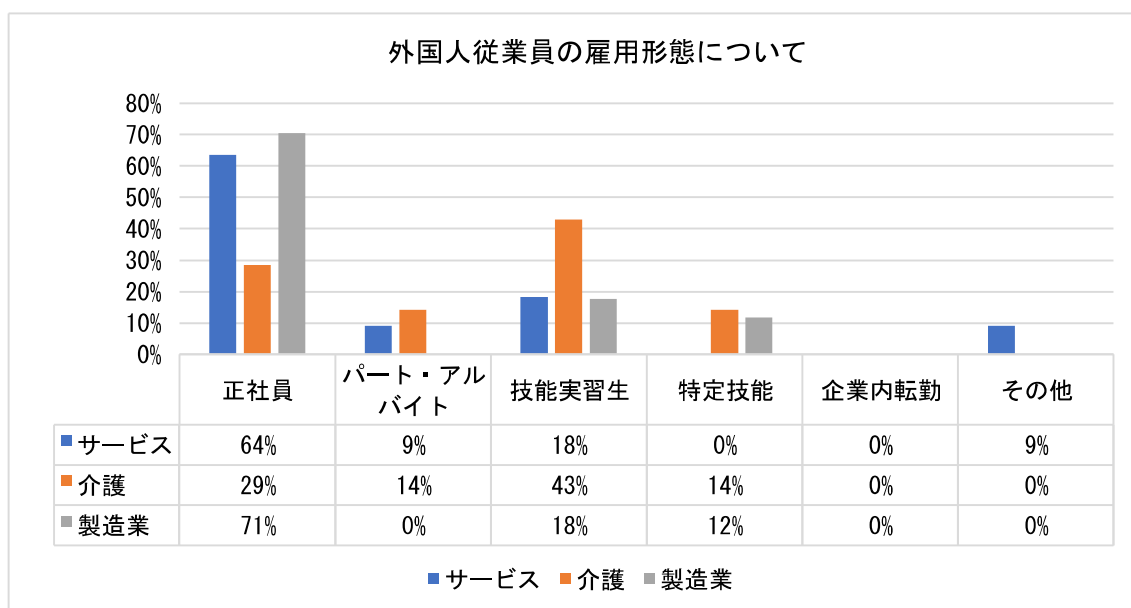
63 件の回答があり、内容は以下の通り。(重複した内容は削除)

No	内容
1	宗教問題
2	ビザの問題
3	意思確認
4	法律的な手続きの事務負担が、総務担当部門を圧迫すること
5	一刻も早く実習制度を廃止し、普通に就労できる制度に変えてほしい
6	特にないが外国人といっって一括りにできない、個人個人で違うと思う
7	特になし。ただし、手続きが煩雑であることは雇用を妨げていると考えています
8	曖昧な表現や言葉の理解度
9	技能もさることながら日本語・日本文化・日本人気質を理解して帰国後日本とのビジネスに関わってもらいたい
10	言葉の問題、住居、待遇等
11	人によって、プライベートのコミュニティがうまく作れず、会社以外で孤立した状態になっている
12	コミュニケーション、法的な事（在留期間、手続き、もろもろの経費）
13	就職に対する考え方が違うことが多いので、他の社員との相互理解が難しい問題
14	言語の他にも、住むところの準備などが必要ときいているから
15	労働意識・習慣の違い
16	お客様とのコミュニケーション
17	仕事を教えても他の仕事にあっさり転職してしまいそう、または、日本人と結婚し永住権を獲得したら辞めるのではないかと
18	京都の旅館の性質上、日本人客に対して外国人労働者を接客係にすることは難しいインバウンドのお客様に対してアルバイトで雇用した留学生であれば日本語と母国語での橋渡しに適していた。またとても真面目に働いてくれたので、インバウンが戻ってきて人材募集時に留学生の応募があれば、日本語のレベルによっては雇用も厭わないし、適材適所で雇用できればと思っています
19	介護業界なので、ご利用者の方の反応が気になる
20	報告連絡相談がうまくできておらず、頑張っているのに、損していることです
21	一緒に働く従業員への負担
22	どうしても日本語の細かなニュアンスが伝わらない
23	日本語学校に行き、就労に必要な専門知識の専門学校へ行っても、同じ国出身のもので集まり、母国語で話すため日本語の向上がない
24	月日が経つと慣れが出て来てしまう
25	ビザ取得、更新には手間がかかります
26	少子高齢化がわかっているこの時代下に、外国人雇用の準備が必要という認識を多くの企業が持つ事が重要

## ■ クロス集計分析（業種別）

### 雇用形態

企業・団体の分野によって、外国人従業員に求めるものが異なると考え、「サービス業」、「介護」、「電気・電子や金属加工などの多業種企業・団体をまとめた「製造業」という3つの業界で、分析を行った。

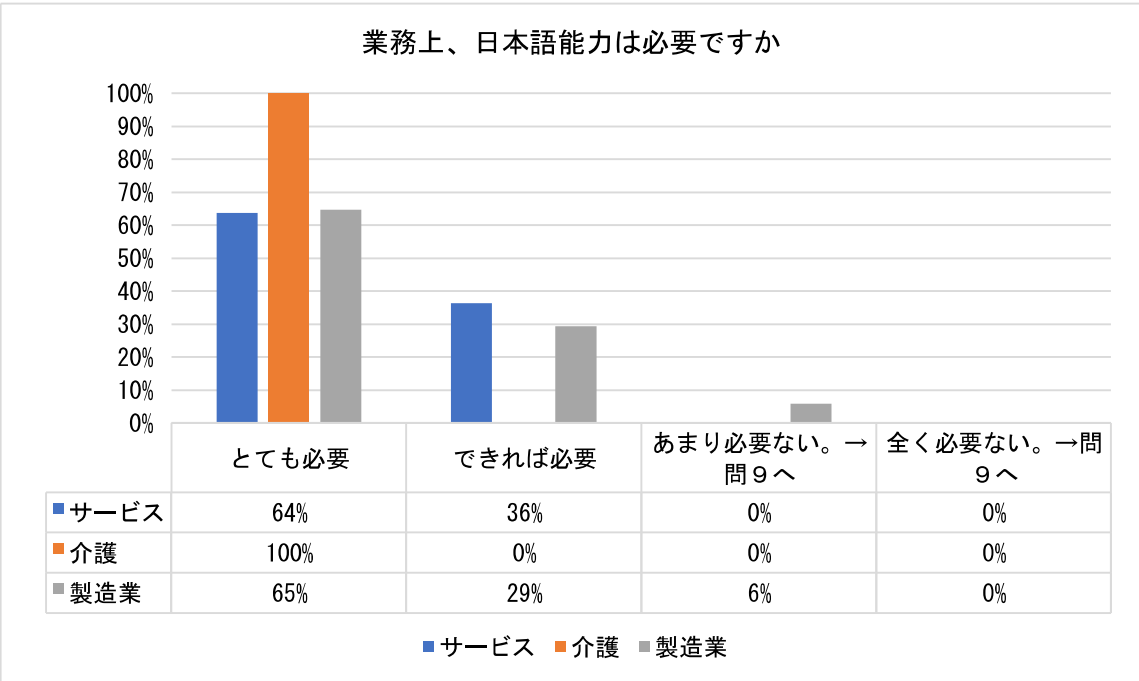


考察：

雇用形態は、正社員が多いことが共通しているが、技能実習生、特定技能、パート・アルバイトも多少存在している。一方、介護分野では技能実習生が多く、正社員が少ないという特徴が見られた。他の分野との比較や差異など、雇用形態の特徴について今後詳しく調査する必要がある。

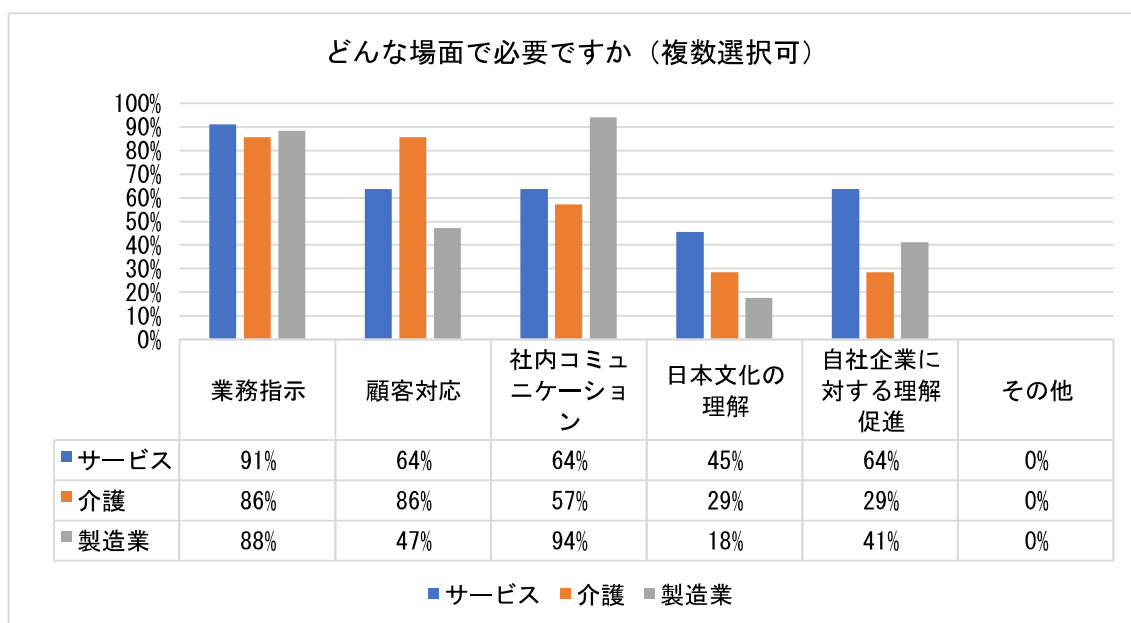


# 従業員の日本語レベル



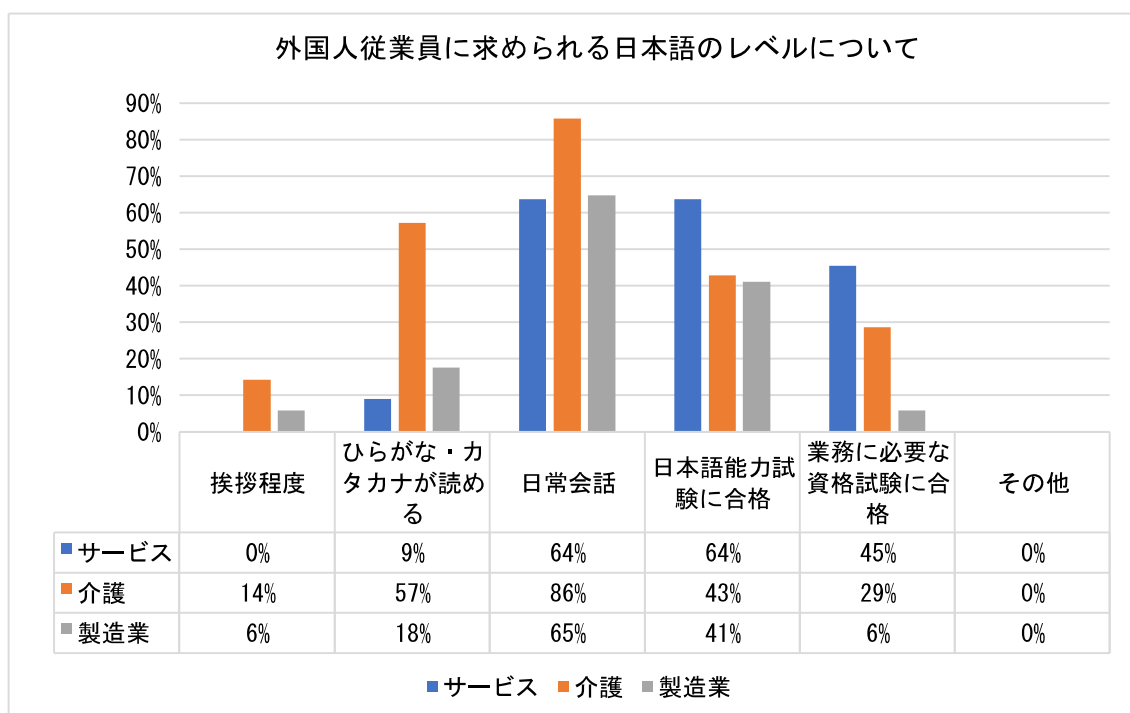
考察：

全ての分野で日本語能力は必要だと考えているが、特に「介護」分野では「とても必要」と回答した企業・団体が 100%であった。介護分野は対人サービスが多く、従業員のコミュニケーション力が重視される傾向があるのではないかと推察される。



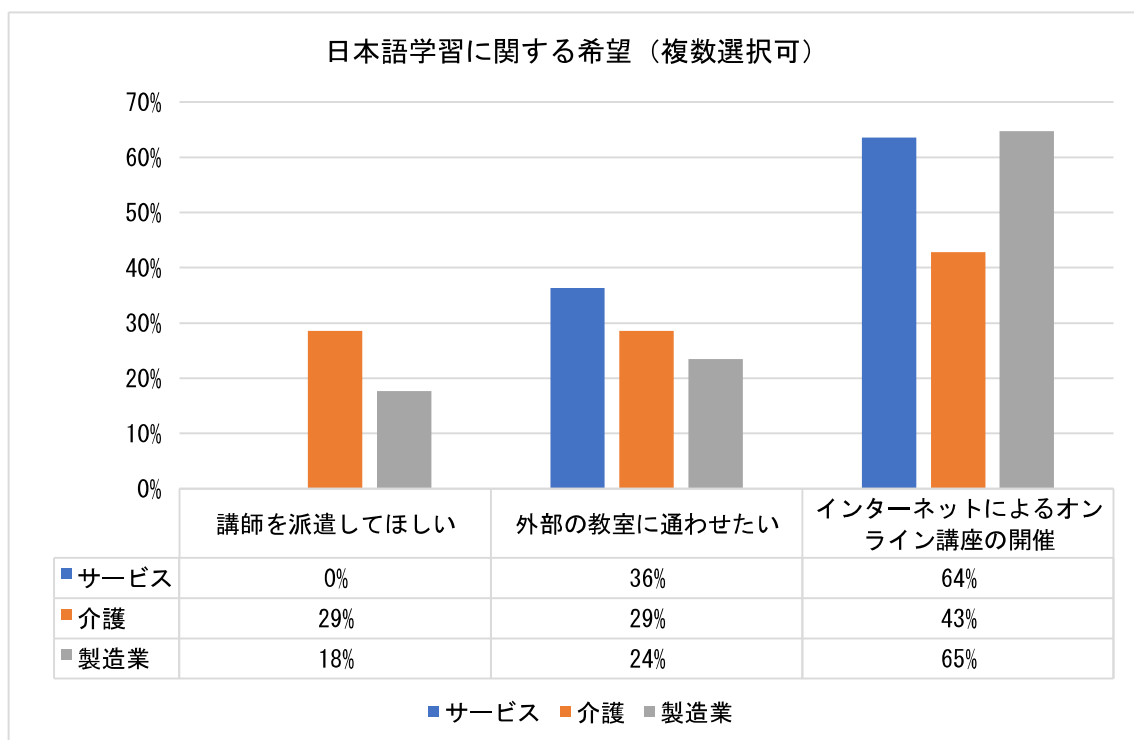
考察：

共通して「業務指示」、「顧客対応」、「社内コミュニケーション」を重視していることが分かる。詳細を見てみると、「業務指示」は全ての分野で必要だと考えられ、顧客対応場面を選んだのは「介護」が多く、製造業は「社内コミュニケーション」を特に重視していることが分かった。予想に反して「日本文化の理解」の値は高くなかった。仕事の現場では、日本文化への理解はそれほど求められていない傾向があることが分かった。



考察：

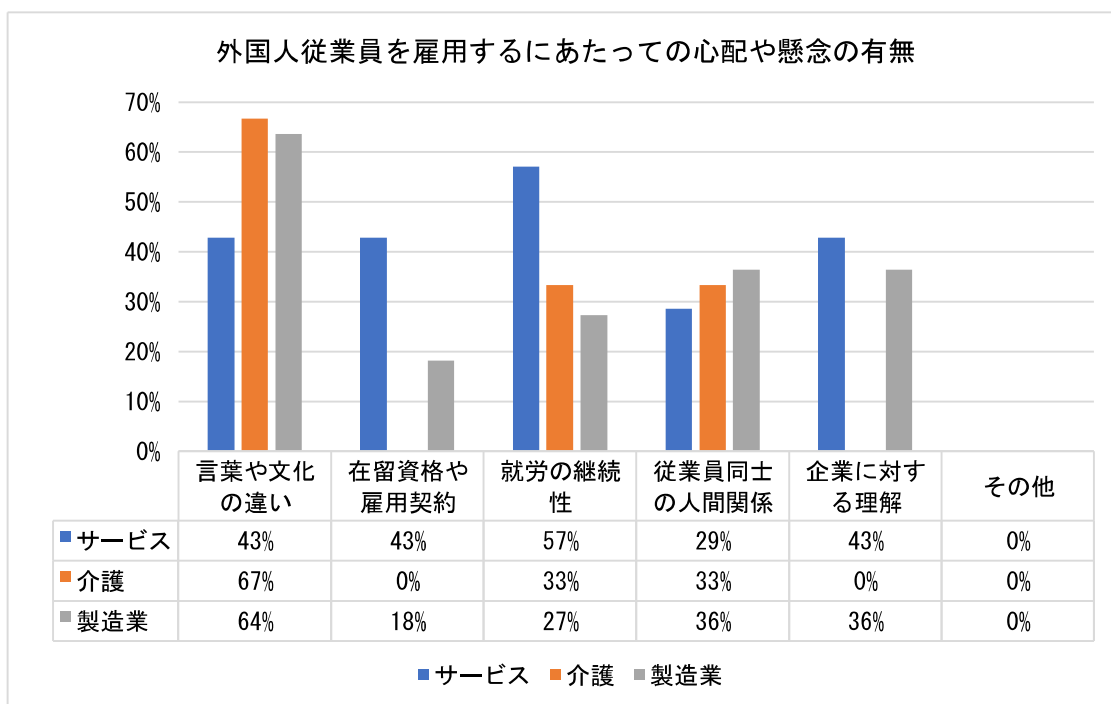
「日常会話」、「日本語能力試験に合格」という 2 つ項目の結果は全体に高く、「日常会話」レベルの日本語を求める企業・団体が最多。介護分野では「日常会話レベル」を最も重視している一方、「ひらがな・カタカナが読める」という回答も突出している。この結果から見て、介護分野では、外国人従業員の日本語コミュニケーション力重視する一方で、求めるレベルについてはそれほど高くないという、一見矛盾した結果にも見える。分野ごとに求められるレベルや指標の違いは今後詳しく調査する必要がある。



考察：

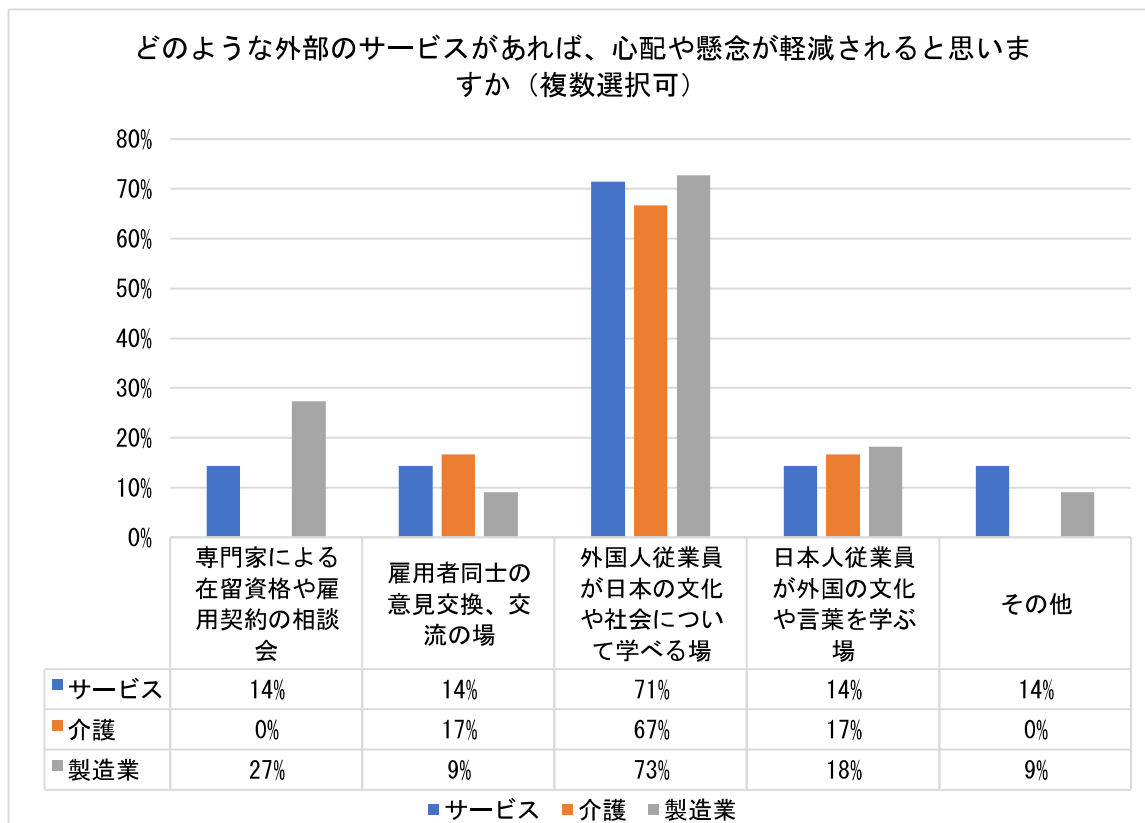
外国人従業員の日本語学習に関して、「インターネットによるオンライン講座の開催」を希望している企業が圧倒的に多く、オンラインであれば費用や時間の効率が良いと考えられている可能性がある。またコロナの禍で、オンライン会議やイベントの開催が増え、オンラインが受け入れやすくなっていることも推測できる。

## 外国人従業員を雇用するにあたっての心配や懸念



考察：

外国人の従業員の就労の継続性について、サービス業で特に懸念要素だと考えられている傾向がある。また、「言葉や文化の違い」を選んだ企業・団体が最も多く、前段の設問では「日本文化への理解」はそれほど重視していないという結果があったことと矛盾しているように思われるが、いざ雇用する際には潜在的な懸念要素となっている可能性は否定できない。



考察：

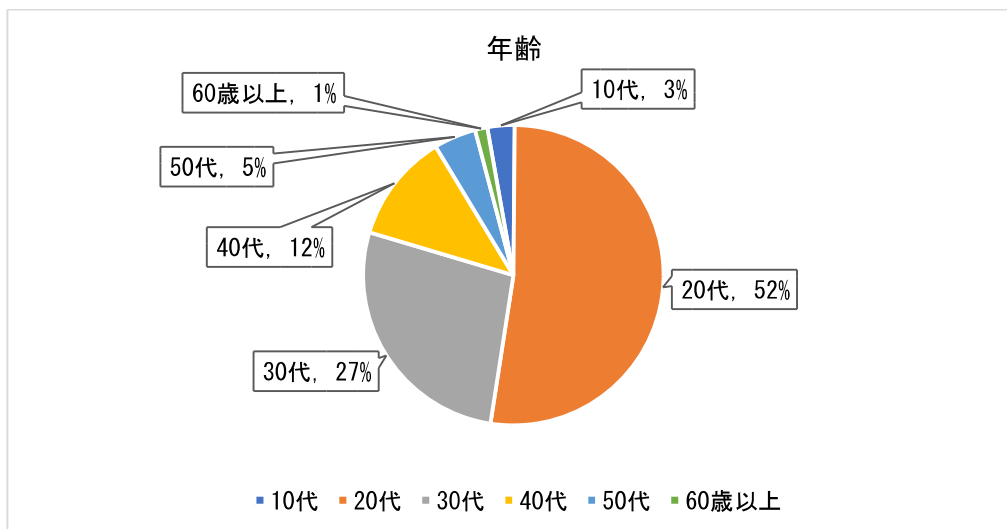
「外国人従業員が日本の文化や社会について学べる場」があれば懸念や心配が軽減されるという回答が最多で、雇用側が外国人従業員に日本の文化や社会について学んでほしいと考えていることが分かる。前段でも同様の回答があった。日本社会で働く際には、日本語の習得以外に、文化や社会について学ぶことが、円滑なコミュニケーションスキルを身につけることにもつながると思われる。

### 3. 外国籍住民向けアンケート

#### ■ 回答者の概要に関する設問（問１～６）

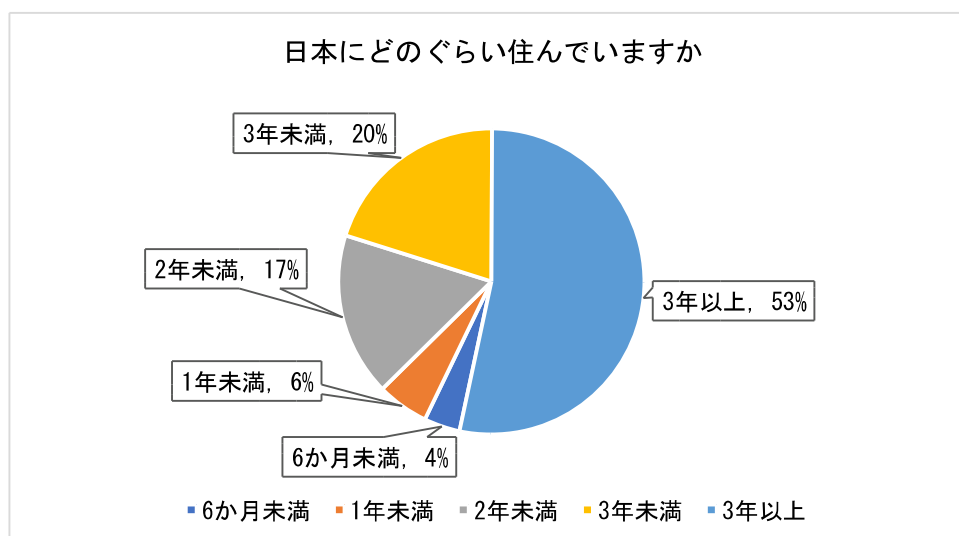
##### 問１：年齢を教えてください

20代（356名、52%）と30代（158名、27%）に集中している。特に、回答数の多かったベトナム人回答者の、約9割以上が20代だったため、全体としても20代と30代に集中していることが考えられる。



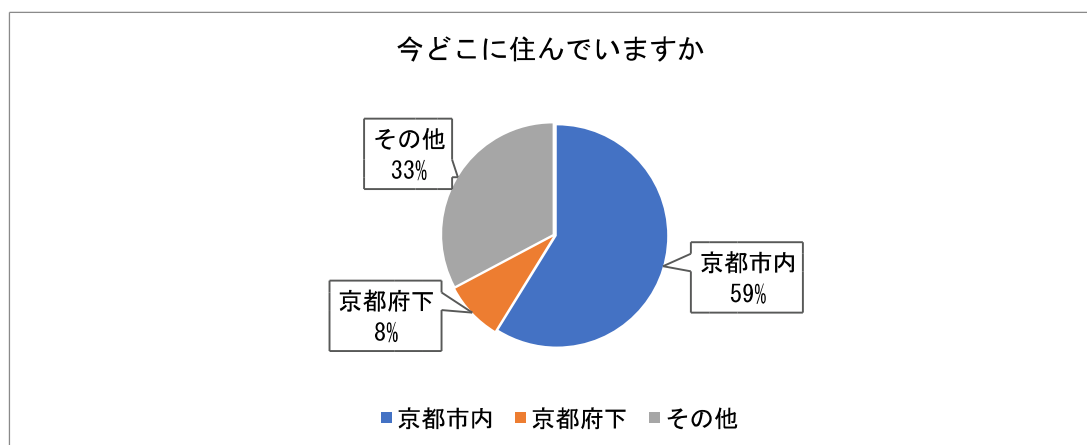
##### 問２：日本にどのぐらい住んでいますか

5割以上の回答者は3年以上日本に住んでいる。「3年未満」は20%で、「3年以上」と合わせて、日本へ来てから2年以上が7割を超えている。



### 問3：今どこに住んでいますか

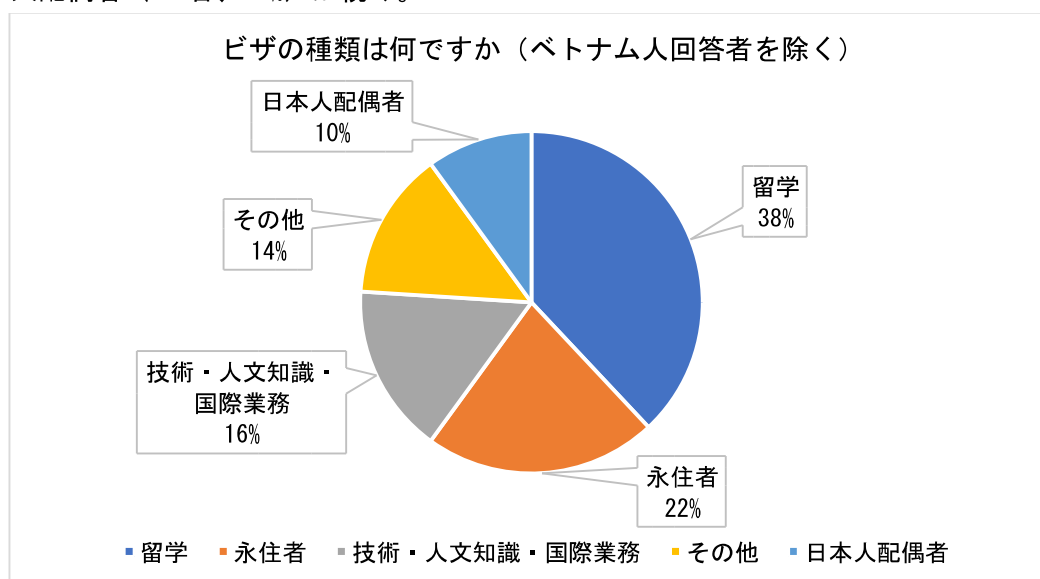
回答者の 67%は京都府内に住んでいる。その内、京都市内は 391 名 (59%)、京都府下は 56 名 (8%)、計 447 名であった。それ以外の住居地としては、関東、九州、北海道など全国各地に散在している。



### 問4：ビザの種類について

ベトナム人回答者は技能実習生が非常に多く、175 名の回答者の中、159 名が「技能実習」であった。回答者の「技能実習」ビザが多かったことから、データの偏りを避けるため、一部の設問は単独に集計した。

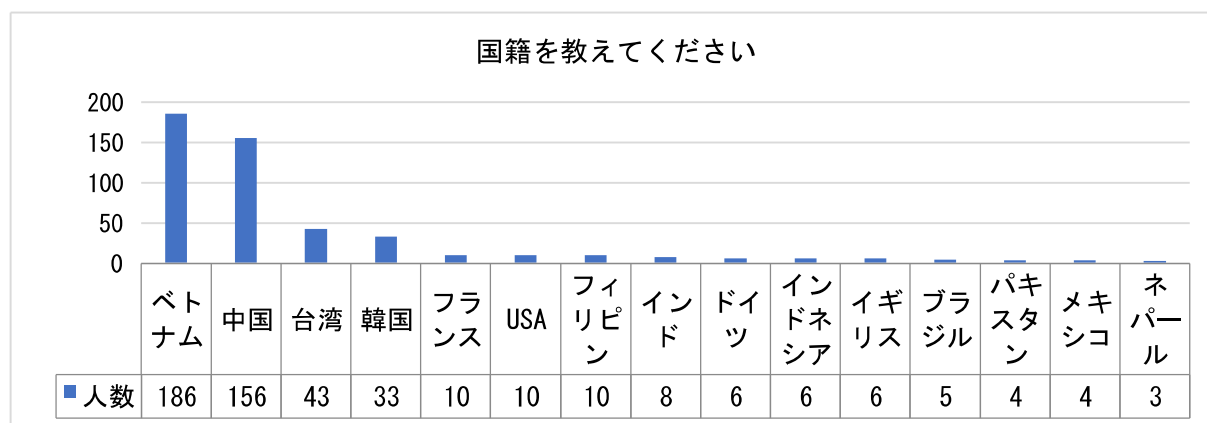
ベトナム人回答者を除くと、留学ビザを持っている回答者は最多で、計 186 名、約 4 割を占めている。永住者 (109 名、22%)、「技術・人文知識・国際業務」(78 名、16%)、本人配偶者 (52 名、10%) が続く。





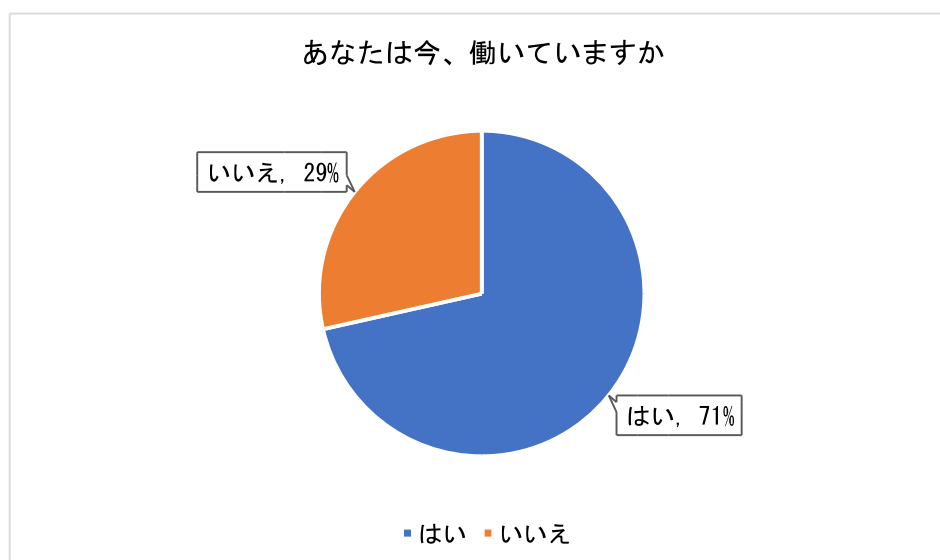
### 問5：国籍を教えてください

ベトナム、中国、台湾、韓国などの順に多い。今回のアンケートでは、ベトナム人労働監理組合の協力が得られたため、ベトナム人の回答者が多くなったが、今後もベトナムからの入国者は増え、高順位を維持することが予想できる。

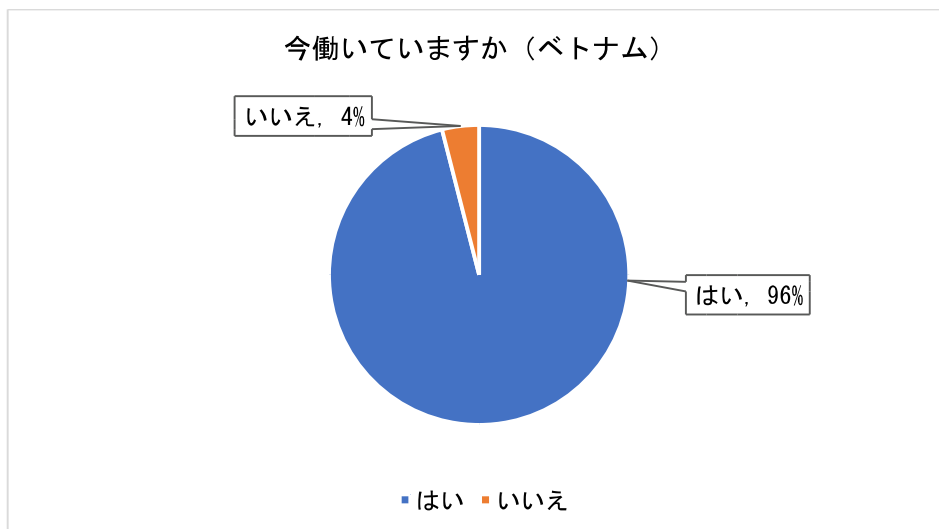


### 問6：あなたは今、働いていますか

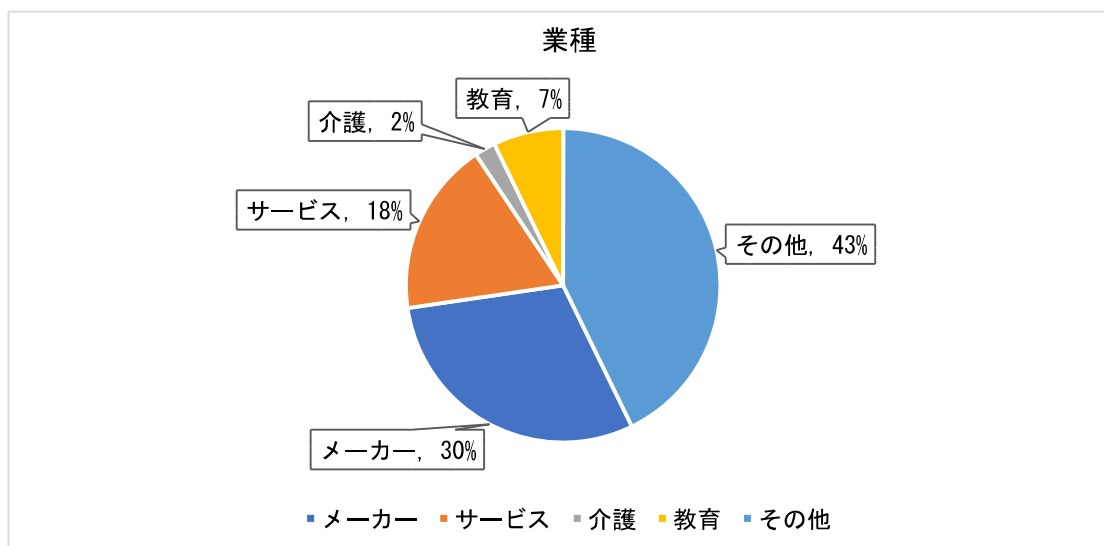
回答者のうち、484名（71%）が就労している。



ベトナム人回答者全体（176 名）の内、就労者は 168 名、全回答者の中でもベトナム人の働いている割合が高い。



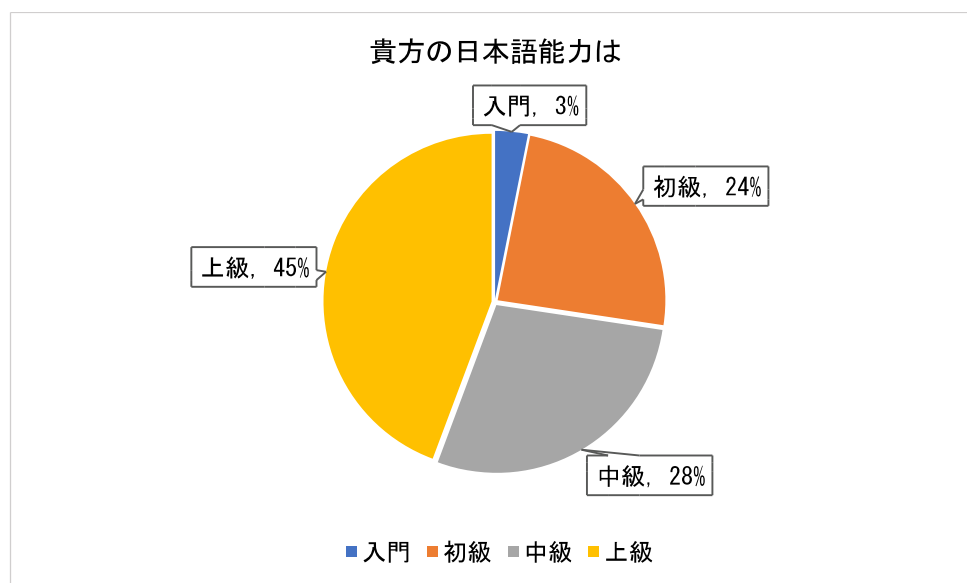
業種について、「メーカー」が最多、「サービス業」、「教育」、「介護」などが続く。その他には、「貿易」、「デザイン」、「IT」、「技術者」など多様な業種が見られる。特筆すべきは、ベトナム人は製造業で就労割合が高い。



## ■ 日本語学習に関する設問（問 7 ～ 16）

### 問 7：あなたの日本語能力について

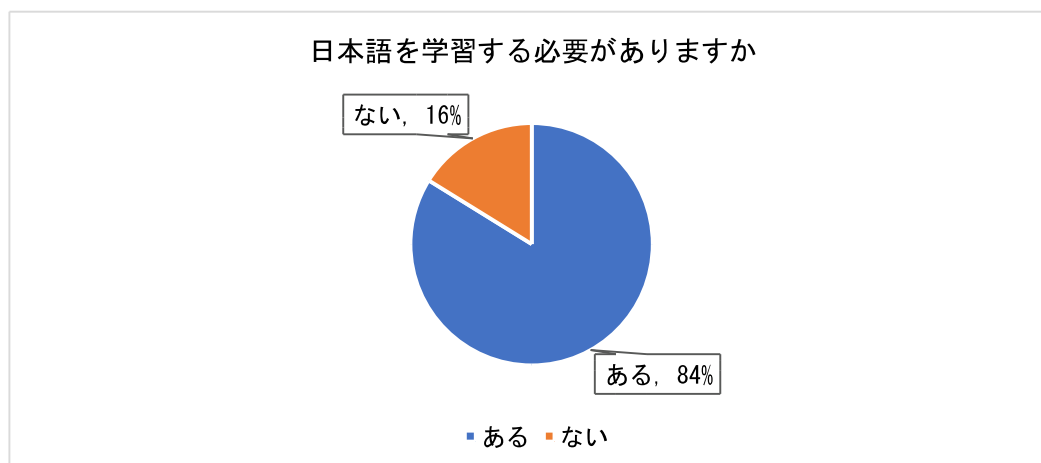
回答者の中、入門は（3%）、初級（24%）、中級（28%）上級（45%）となっている。その中で、日本語版アンケート回答者の中で上級者は最も多く上級者の 60%以上は日本語版アンケート回答者であった。



一方で、ベトナム語版アンケートの回答者のほとんどは、初級と中級に集中している。初級は 110 名（63%）と中級は 56 名（32%）、合計で 95%を超えている。

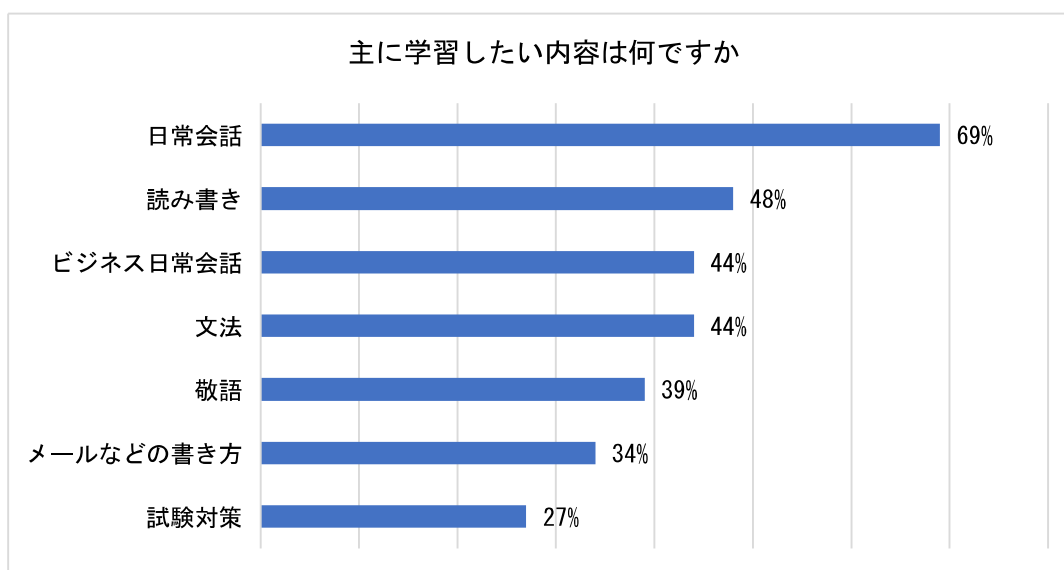
### 問 8：日本語の学習が必要ですか

回答者の中に 8 割以上が必要であると回答している。多くの回答者は、日本語の上達、学習の意欲があることを示した。



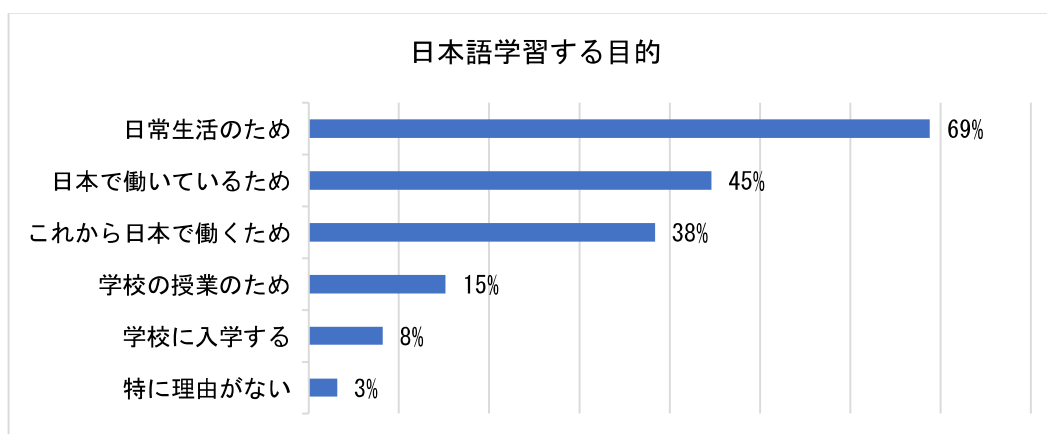
### 問9：主に学習したい内容は何ですか（複数選択可）

回答者の中、会話を選択した回答は全体の 69%を占めており、最も割合が高い項目であった。「留学生」、「就職者」、「技能実習生」など、立場によって必要な日本語の能力は異なると思われるが、共通して必要となる「会話」を選択したと考えられる。また、日本語版と中国語版の回答者は「会話」、「ビジネス会話」、「敬語」を重視している傾向がある。ベトナム語版アンケートでも最多は「会話」であるが、「試験対策」への関心度も高い傾向がみられる。



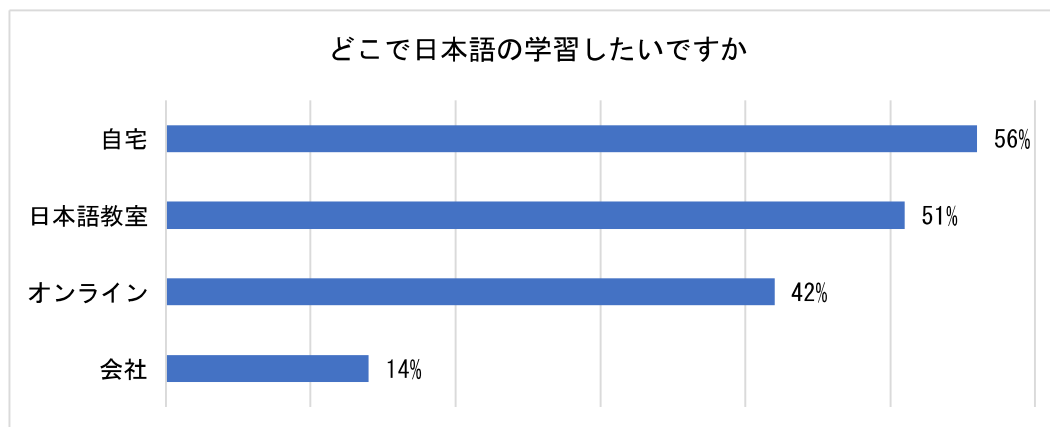
### 問10：日本語学習の目的は何ですか

「留学」ビザの所持者は「学校に入る」、「学校の授業のため」、「これから日本で働く」の長期的な動機づけがみられた。一方で、日常生活の場面において、日本語の使用は不可欠のため、7割に近い回答者が「日常生活のため」を選んでいる。



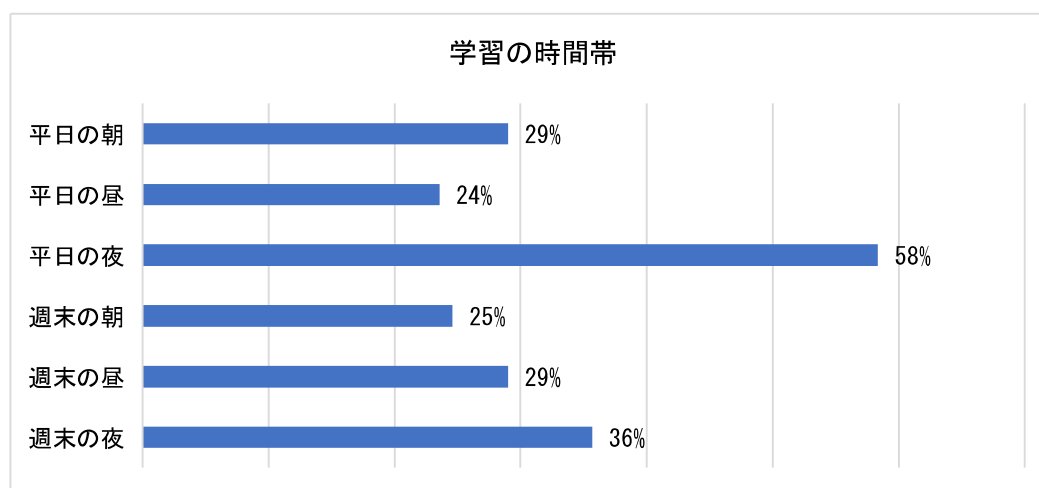
### 問 11：どこで日本語を学習したいですか

自宅を選んだ回答者が最も多く 56%、2 位は日本語学校（51%）、3 位はオンライン（42%）となっている。「自宅」と「オンライン」を選択したのは利便性が重視される一方、「日本語教室」（51%）も高い需要が現れた。



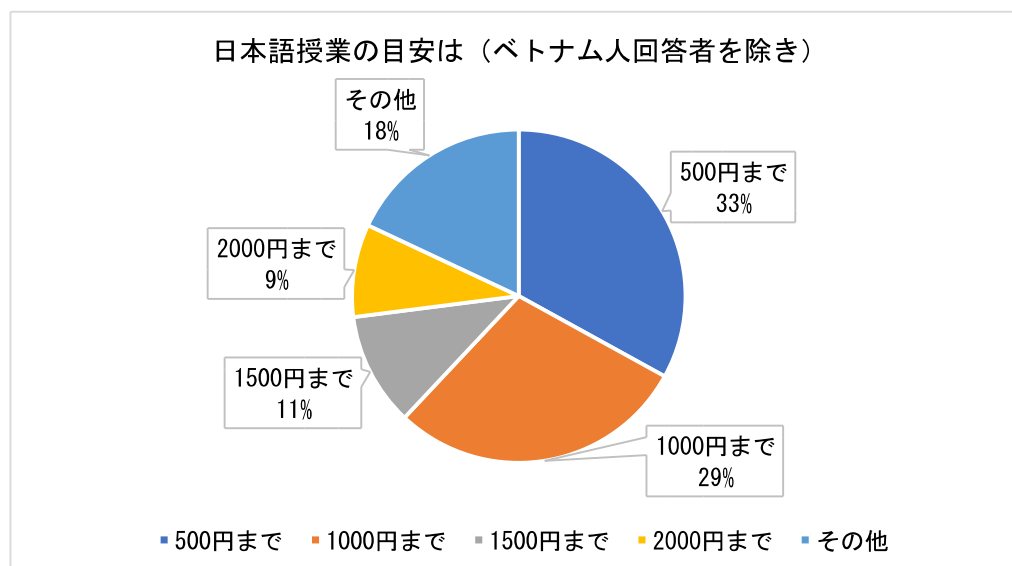
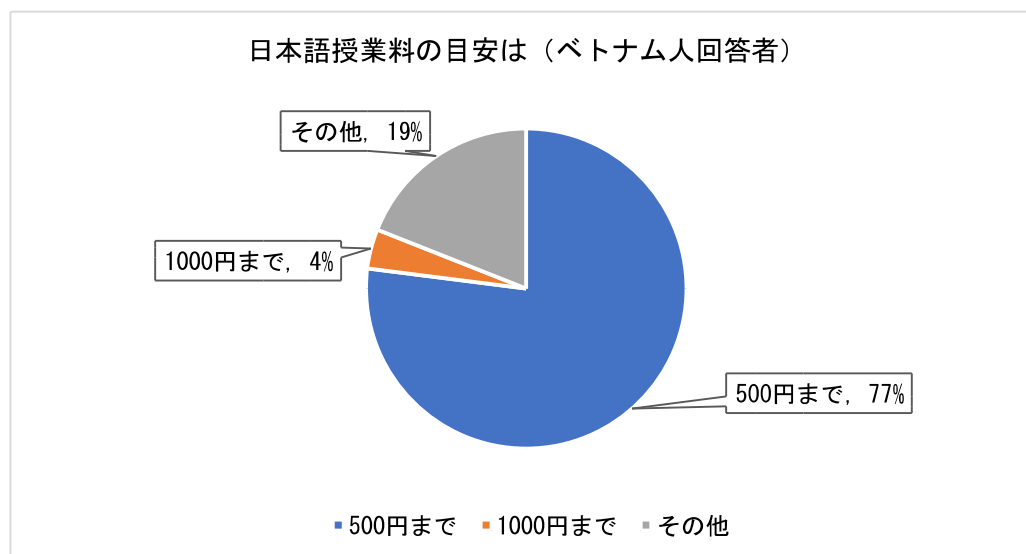
### 問 12、学習ができる時間帯は？（複数回答可）

学習の時間帯について、平日の夜を選んだ人が最も多く、「平日の昼に授業や仕事がある」、「帰宅してから学習したい」という回答が多かった。



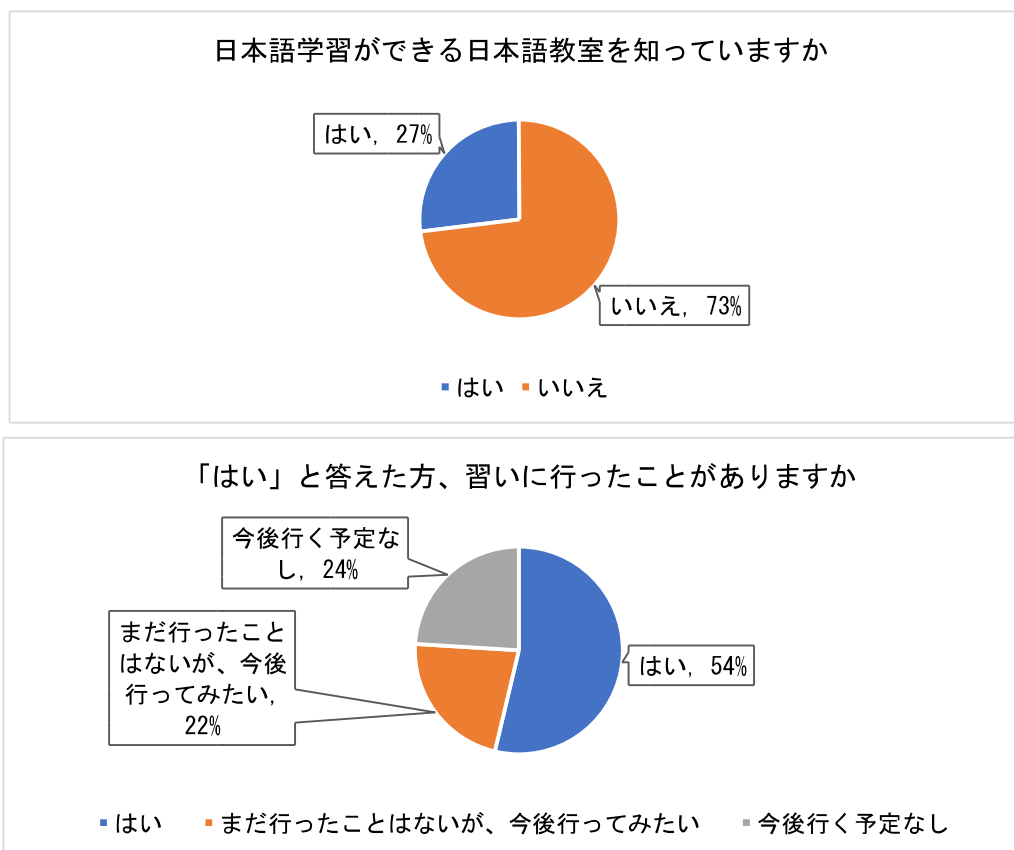
### 問 13：日本語授業料の目安は

ベトナム語版アンケートの集計データを抽出した場合、128 名の回答者の中、122 名（77%）が「500 円まで」と回答している。「その他」の項目で「200 円」、「100 円」、「0 円」、「無料」などを記入した回答も多い。データ結果の偏りを避けるため、ベトナム人回答データを除外して集計してみたところ、結果として、時間単位で 500 円までが 33%、1,000 円までが 29%の回答が得られた。



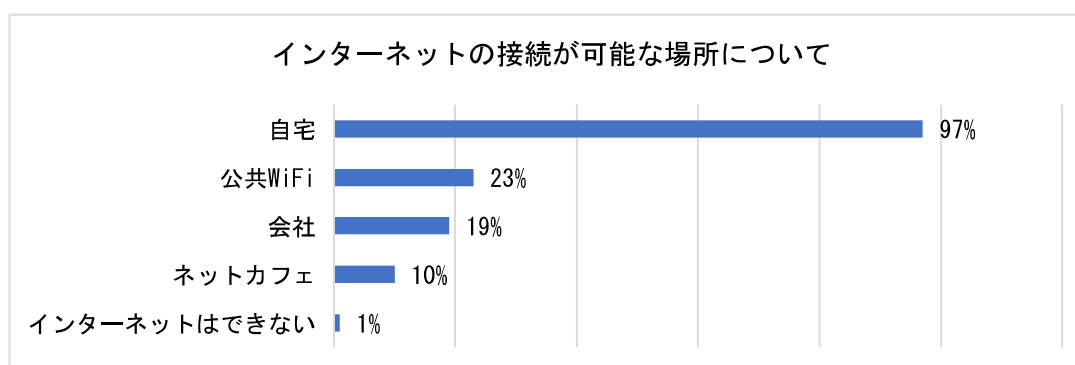
#### 問 14：日本語学習できる教室や学校等を把握していますか

日本語教室について、73%の人は知らないと回答した。残りの 27%の「はい」と答えた人の中で、実際に日本語の教室に学習しに行ったことがある人は約 5 割であった。



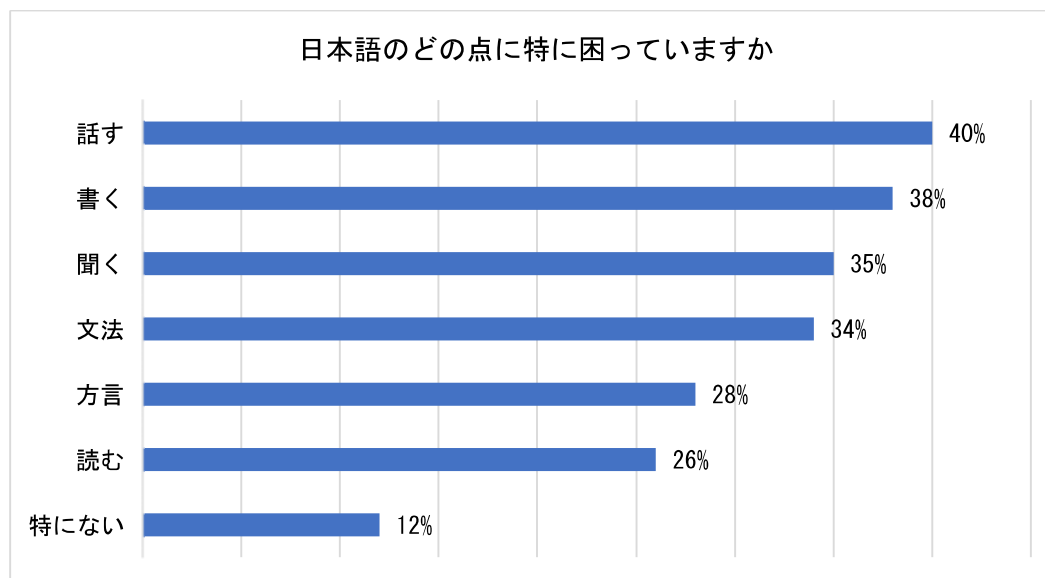
#### 問 15：インターネット接続可能な場所について

ほぼすべての回答者は「自宅」と回答した。自宅にインターネット接続環境が有る人が多いことを示している。

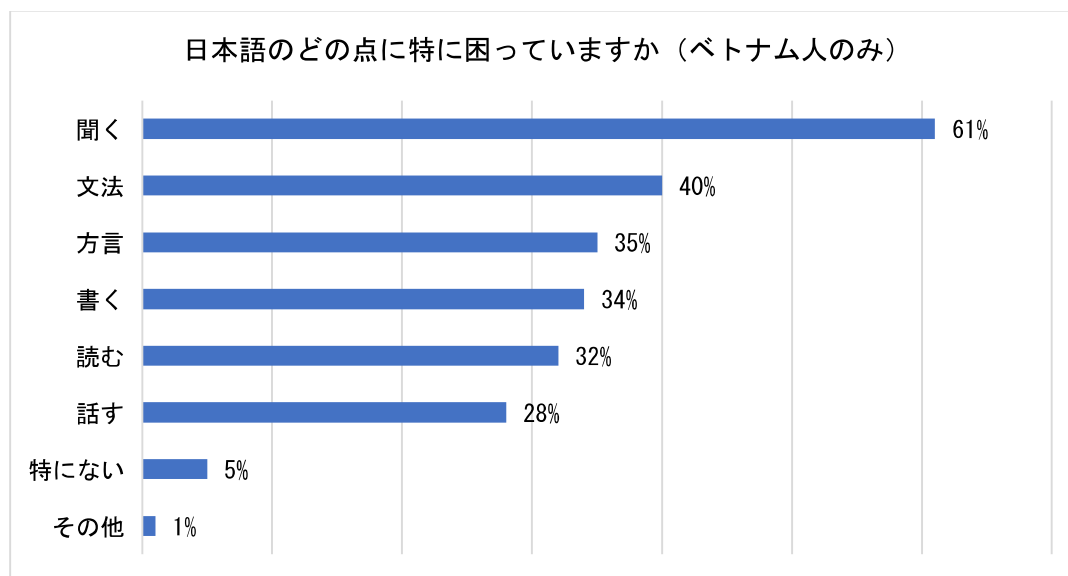


#### 問 16：日本語のどの点に困っていますか

データの全体を見ると、大きな差がないが、比較的に高いのは「書く」（38%）と「話す」（40%）であった。



ベトナム人回答者のデータだけを取り出した場合、特に「聞く」（61%）を重視している傾向があることが分かる。

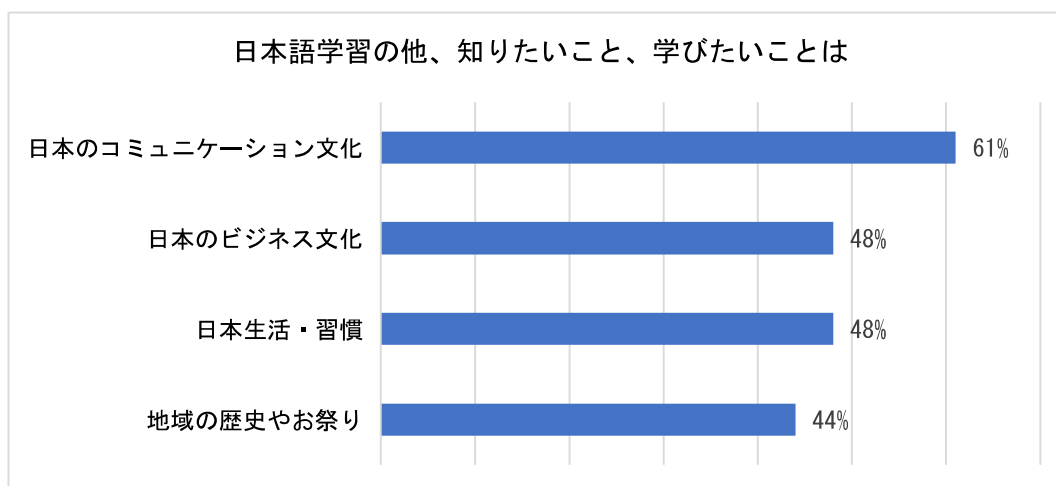




## ■ 生活に関連する設問（問 17～22）

### 問 17：日本語学習の他、興味のあるものは何ですか

特に「日本のコミュニケーション文化」が最多で、6割を超えている。日本で生活する中では言葉は不可欠であり、会話の学習を重視する回答者の傾向と一致していた。

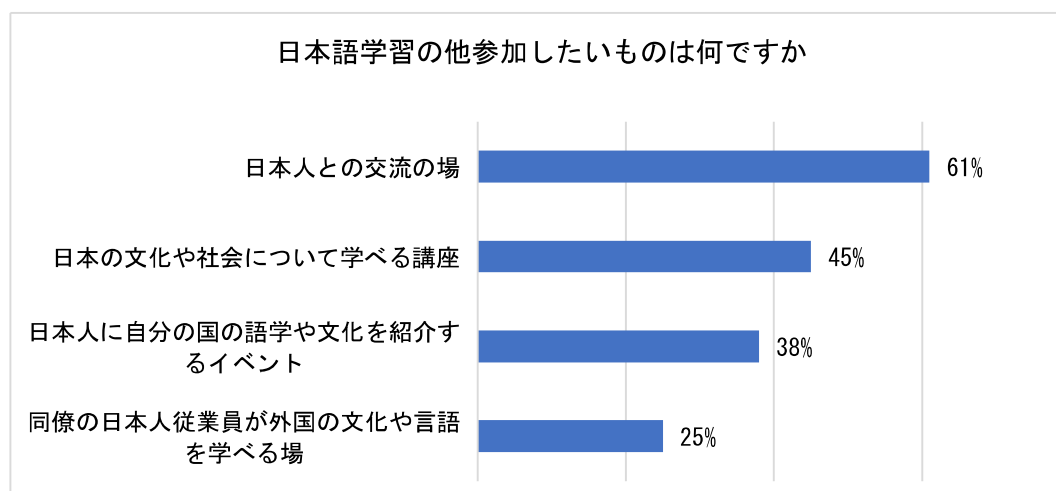


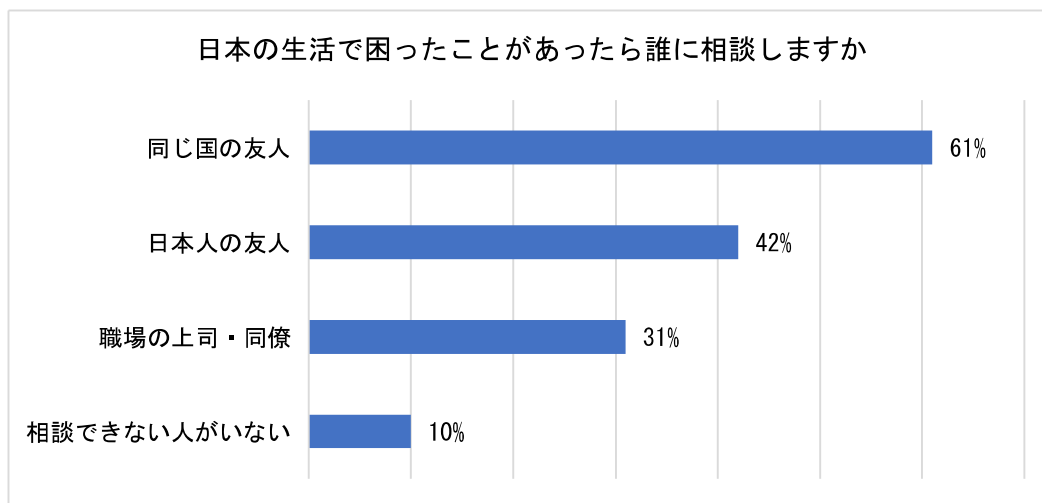
### 問 18：日本語学習の他、参加したいものは何ですか

### 問 19：日本の生活で困ったことがあったら誰に相談しますか

2つの質問を合わせてみれば、問 18「日本語学習の他、参加したいものは何ですか」で、「日本人との交流の場」を選んだ回答者は 60.8%であった。問 19「日本の生活で困ったことがあったら誰に相談しますか」について、「日本人の友人」と相談するが 42%となっており、この結果から、多くの外国人は日本人の友達を持っていないと推測される。

また、「日本の文化や社会について学びたい人」は約 4 割以上で、日本社会への関心が高い一方で、困った時に日本人の友人に相談する人が少ないことを見ると、日本社会に馴染めていない人も多くいるということが推測できるだろう。





問 20：日常生活や職場で日本人とのコミュニケーションで困っていることがあれば書いてください（重複、類似内容は削除。原文のまま記載。）

No	内容
1	言い回しの理解が難しい
2	只今日本語を話す機会が少ない
3	アニメ、テレビ、お笑い芸人などについてのお話
4	友達が作れない。時々孤独感が溢れる
5	ゆうちょ口座を開くときに大変で、申し込みは私にとって読みにくい
6	文化と性格の差異によって、どう付き合うのか全然わかりません
7	暗黙のルールやニュアンスの誤解
8	日本人の早口や関西弁でよく聞き取れないです
9	話できません。なんの話題を話しているか、全然わかりません
10	今の若い世代は常にカタカナ語使う、ほぼ意味わかりません。辞書にも通訳出来ないカタカナ語山ほど有ります
11	言い方の部分、ちょっと聞き取れないことがある、日本人はあまり自分の感情を表現しないので、ある時直接に言わないというところ
12	もし日本人がはやくはなすと、ちょっとわかりません。私の専門について日本語がわかりにくいです。困ります
13	漢字の文章
14	関西弁がわからない。特に高齢者と会話する時、相手の話が聞き取れない。日本人の考え方がちょっとわからないので、相手の意図、婉曲の話の裏にある本当の意味がわからない
15	外国人に対する先入観
16	文化や歴史風習
17	いろんな敬語を使用する場合
18	日本文化をわからない時に違う言葉を使ってしまった
19	専門分野に関する会話があまりできません
20	日本語の間違ったところを訂正してくれない、そのまま流されます

**問 21：生活（仕事）している中で、必要と思われる支援について書いてください**

（重複、類似内容は削除。原文のまま記載。）

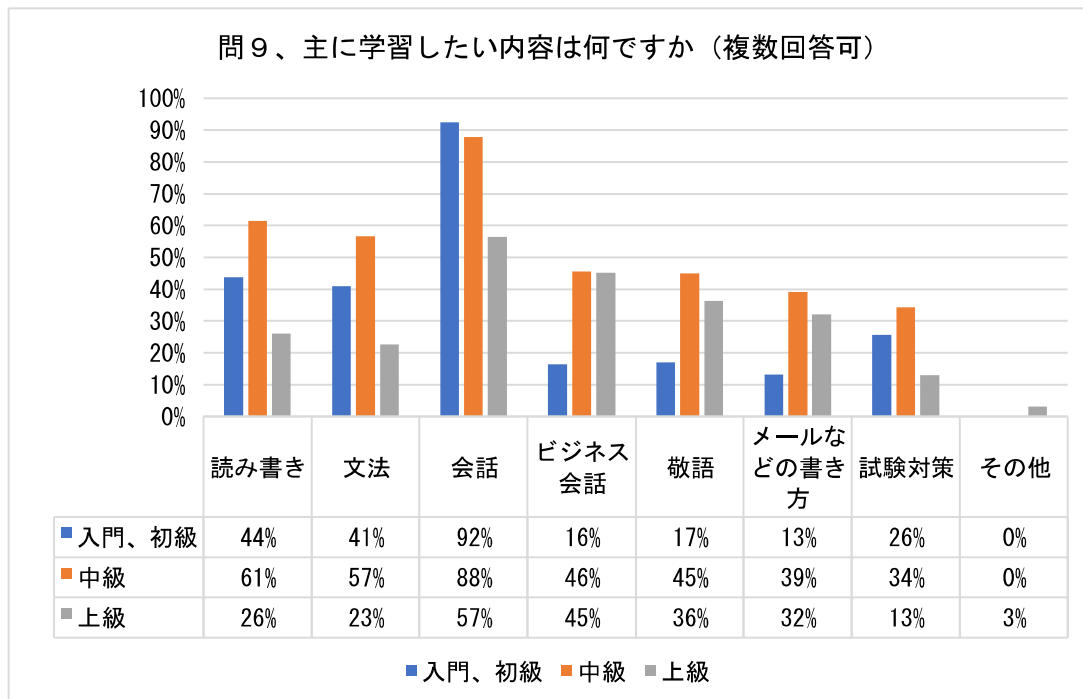
No	内容
1	ネパール語の辞書は欲しい
2	進学
3	メールの書き方
4	電話する時の日本語
5	税金などに社会人向けの支援が欲しい
6	職場の悩み相談
7	会話が練習したい
8	いろんな場面の会話ができる日本語の授業や交流会
9	友たちが出来る環境をすることです
10	就職活動のこと、バイトと仕事の紹介、日本人と出会い機会など
11	病院行くとき、医者相談難しい
12	日本人のあり方、仕事上のマナー、考え方など
13	地域のボランティア活動を増やしてほしい。例えば、ゴミ拾う活動等
14	現代日本の経済と政治についての講座
15	漢字の講習
16	（日本滞在のまだ短い外国人にとって）日本の社会保障制度、宗教上食べられない食材の漢字の読み方や見分け方などについて支援があれば助かると思う
17	仕事にもよるが、漢字が読めない時もあるのでフリガナをふってあげれば、ならい始めの方でも読めるから助かる
18	子持ち世代にとって、子供の学園生活に関して、先生とママ友とのコミュニケーションをうまく取れる方法を教えていただきたい
19	正しい敬語の使い方
20	論文書く練習したい

問 22：日本で外国人として生活することについて、気になることがあれば書いてください  
 （重複、類似内容は削除。原文のまま記載。）

No	内容
1	私たちが外国人と判断され、いきなり英語で話してくれた経験がたくさんあります。日本語を勉強した上、その言語を磨きたいです
2	外国人だと推測される時に相手がお優しくゆっくりしゃべってくださるんだけど、実は平常心で、普通の人と話すようにしゃべってくれたほうが一番いいなと思います
3	アパートを探しの支援
4	日本のマナーがよくわからない
5	文化の違いの関係で、やることが違う
6	日本人で外国人のことを理解しようとしなない人がいること
7	*日本語できる外国人に対してジャパンリッシュ(カタコト英語)は不要 *外国人とは英語圏や中国語圏の国だけではありません
8	外国人を差別しないでほしい
9	とにかく日本のマナーを理解し、日本の事（全ての分野）を勉強し、日本社会に馴染むことを努力することが大事。そうしたら日本での生活が楽しくなる
10	プライバシー侵害（会社で個人情報や仕事以外の過ごし方等を聞こうとする）
11	こどもが病気のときに、心配します。
12	町の中や観光名所では、自然ではなく、文法や言葉遣いが非常におかしい英語、中国語、韓国語の案内表示が多く見られます。その一部は見たら意味が大体伝わるのでまだましですが、真逆の意味あるいは全然関係ないことを言ってるものもあって、誤解を招いてしまいそうな間違いも少なくありません。国際化を図る京都市にとって、これらは細かい所ですが非常にマイナスな影響をもたらしてしまいかねないので、ぜひ今のコロナのうちに整備しておいてください
13	テレビを買う必要があります、ニュースや番組や時間があるとき見て、長くすると、言葉の喋り方に染みつきます
14	関西での言葉使いは教科書と違って、普段での交流に経験を積み重ねが必要です
15	外国人はただ稼ぐために日本に来るわけではない、優秀な外国人が来ると、日本のグローバル化が進んで行くと思う。
16	いろいろな名目で税金を分捕られ、沢山の日本人と同じように、普通の収入のレベルでは何しても豊かになれません。そういうシステムに困っています
17	携帯電話の料金プランや、銀行口座の種類（普通預金、定期預金、積立預金など）、保険契約の内容は外国人に分かりにくいと思います
18	個々の仕事が忙しく友達と集まる事がなくなる
19	外国人のことを理解しない日本人が多い、日本が大好きしている外国人が有っても、社会から追い出すことがおおい、日本会社は外国卒業をレベル低い、外国人を何でも出来ない人として扱い会社が多い。但し、それは色々な面にひどいと感じられるかもしれないが、今までの11年間に分かったことをまとめると、外国人に対することだけではなく、日本人互いに同じことがおおいです。現代日本人に対するよく外国人は日本人より日本っぽいので、知識ぶつけますね。きつい、多分聞きたくないことを書いて申し訳ありません。聞きたくないと無視していいですよ。上記は私の11年間経験ですが、日本の色々な点すきですよ…
20	未だに珍しい人として見られる

## ■ クロス集計及び考察（日本語の学習ニーズについて）

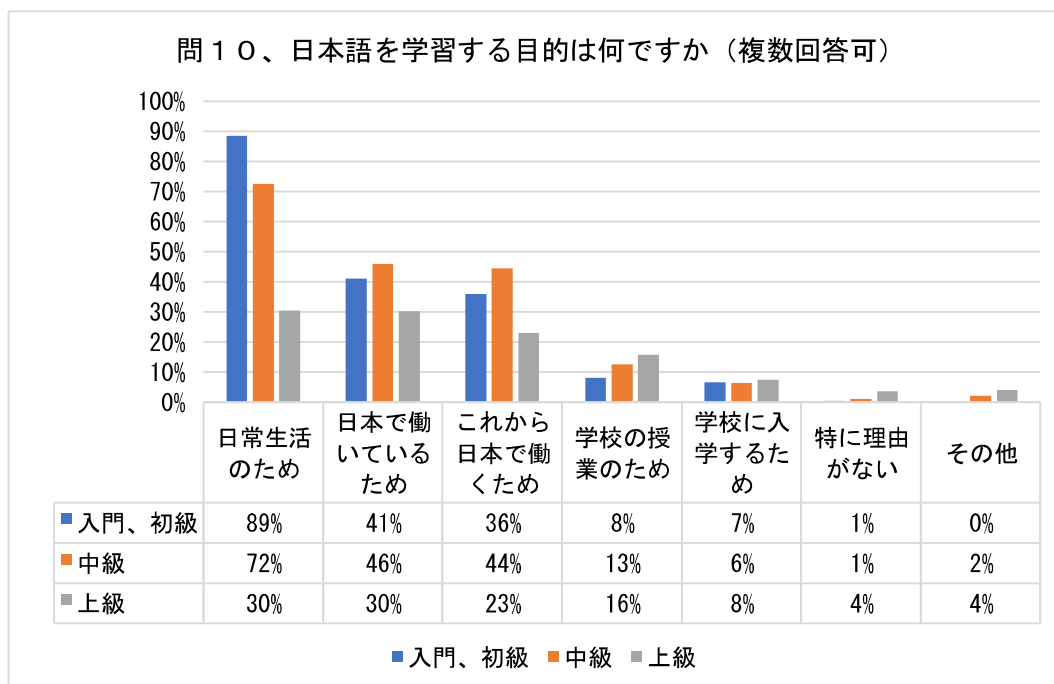
在留資格、アンケートの言語別、日本語レベルという切り口でそれぞれ集計、分析を行った。



考察：

全体としては「会話」を学習したい人が最も多く、日本語のレベルと関係なく「会話」を最も重視していることがわかった。

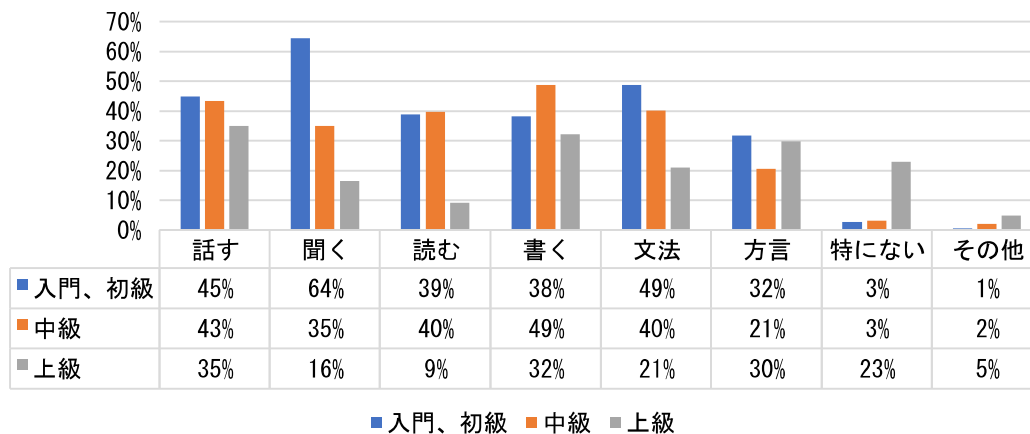
また、日本語の能力によって、学習したい内容は異なる。入門、初級、中級の学習者は「読み書き」、「文法」を重視し、中級からは「ビジネス会話」、「敬語」、「メールなどの書き方」についてのニーズが増えている。



考察：

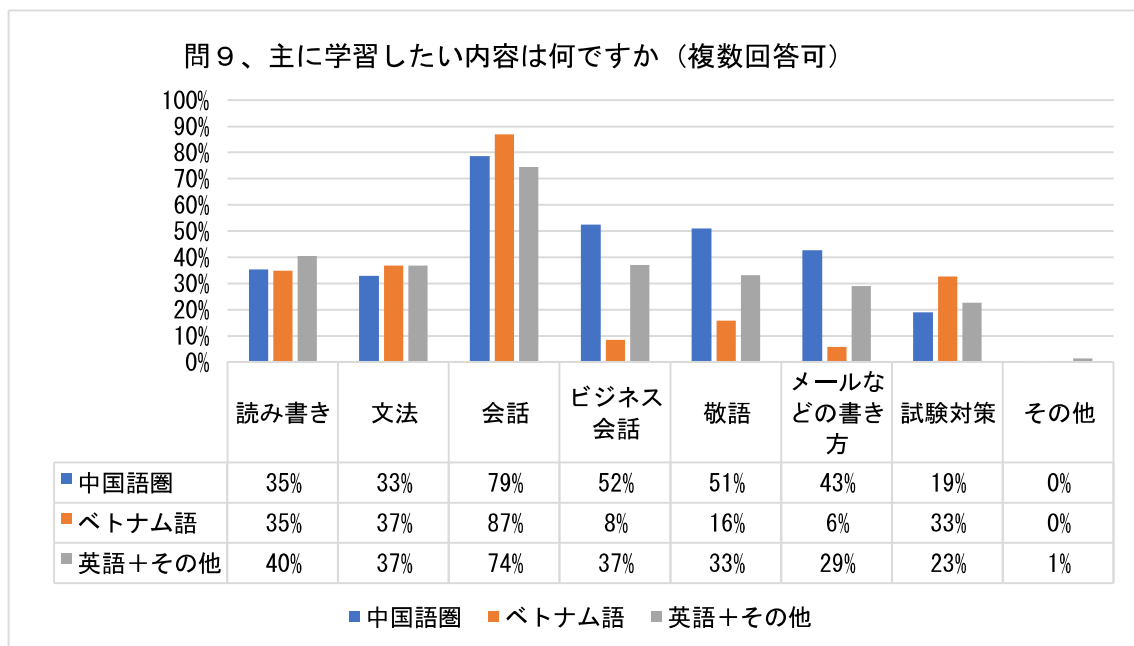
「日常生活のため」と回答した人が最も多く、「会話」の学習ニーズが最も高かった結果と合致している。

問 16、日本語のどの点に特に困っていますか（2つだけ選んでください）



考察：

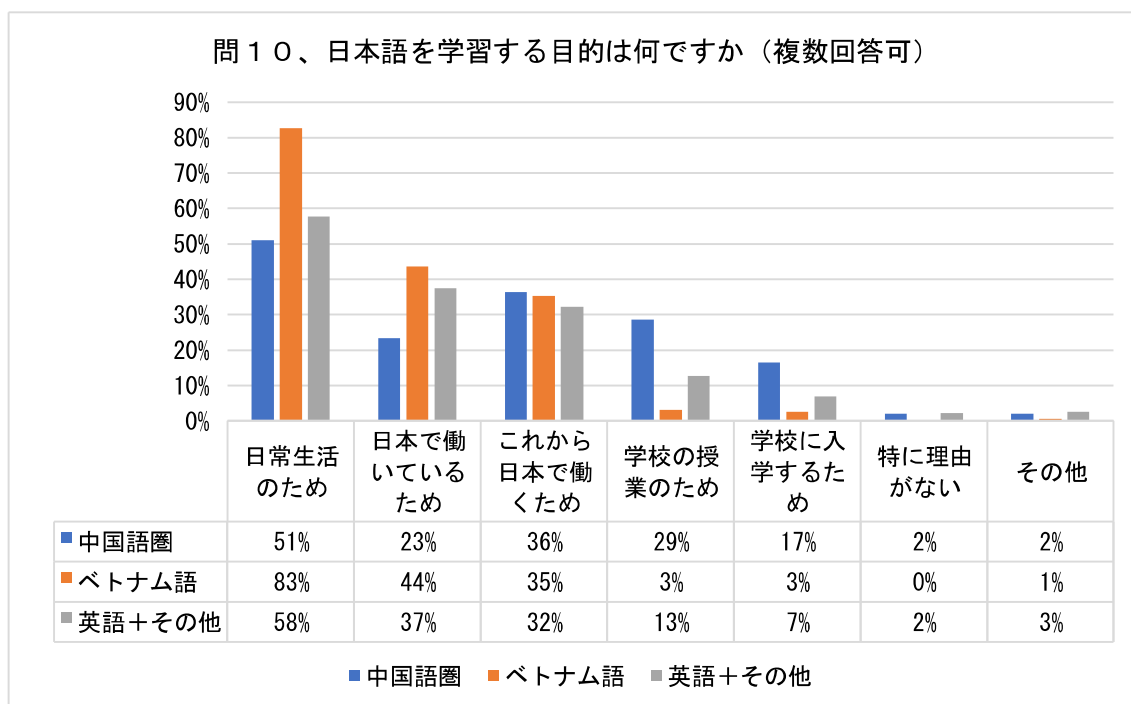
「特にない」、「その他」以外の項目は大きな相違が見られなかったが、入門、初級の方にとって、「聞く」が難しいと感じる傾向があることが分かる。また、日本語レベルが上級になるほど、困っている割合少ないという傾向があるものの、「書く」と「方言」は日本語のレベルとの関係なく、難しいと感じている人が多い傾向が見られる。



考察：

出身地によって、学習のニーズが異なる。特に、ベトナム人回答者は「ビジネス会話」、「敬語」、「メールの書き方」に関するニーズが低い。今回のベトナム人回答者には「技能実習生」が多かったことが要因の一つだと思われる。また、「会話」はほかの項目より圧倒的に多いことが分かる。

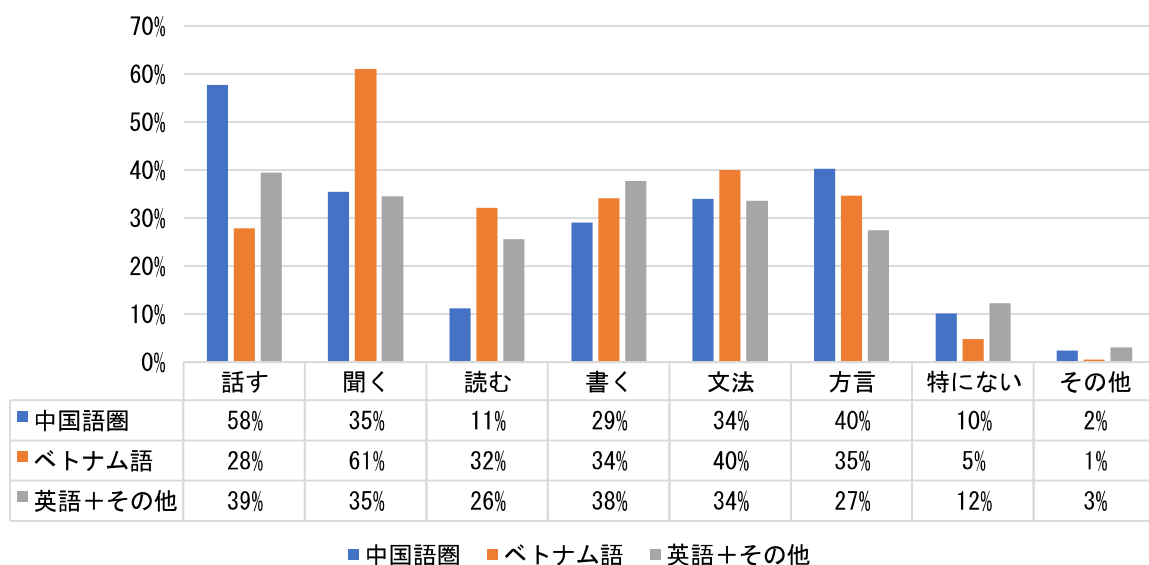




考察：

「日本語のレベル」の結果と似ているが、ベトナム人回答者が特に「日常生活のため」を重視し、「学校の授業」、「学校に入学のため」の値は高くないのは、今回のベトナム人回答者に「留学生」が少なかった理由だと考えられる。

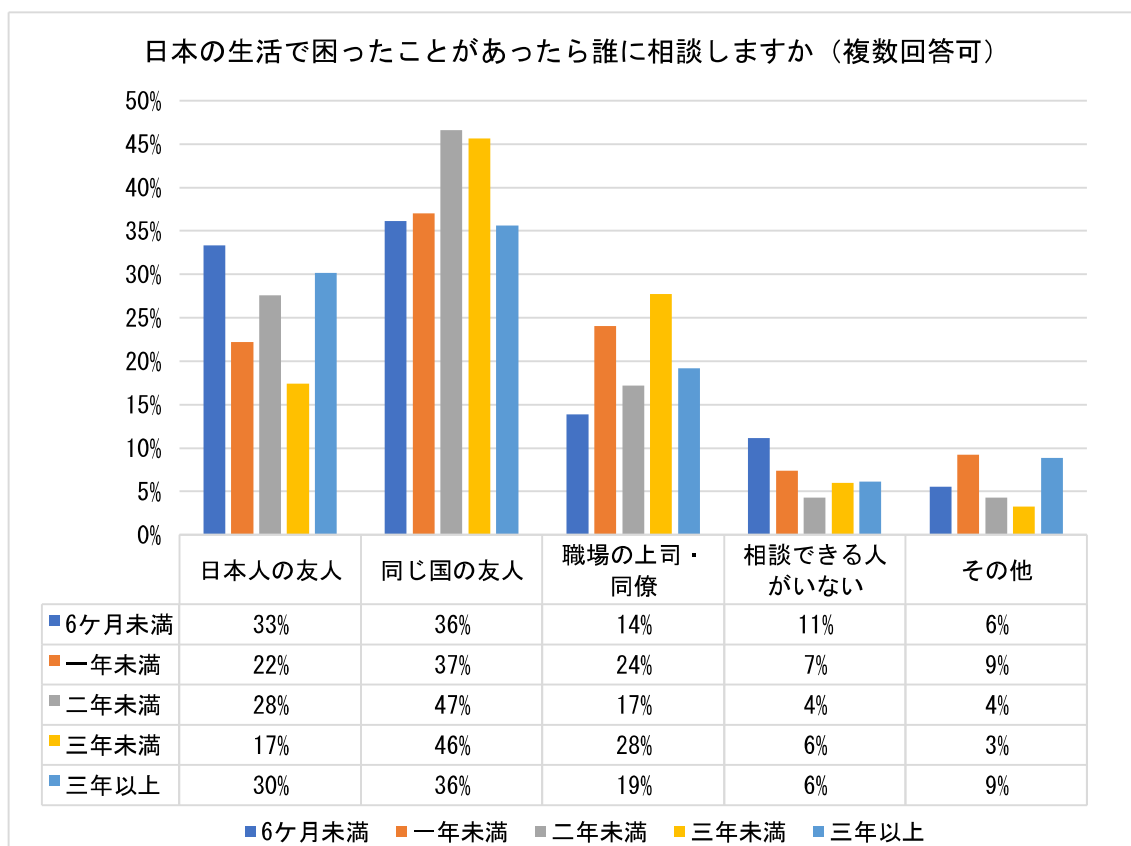
問 16、日本語のどの点に特に困っていますか（2つだけ選んでください）



考察：

特に困っている点について、注目すべき点が 3 つある。まず、中国語圏回答者は「話す」に困っていることである。その要因としては、「留学生」や「社会人」が多く、生活の中で話す力の必要性が高いからと推測できる。次に、ベトナム人回答者は「聞く」に困っている。「技能実習生」が多かったベトナム人回答者は、職場における「業務指示」を理解することがより重要だからではないかと考えられる。最後に、中国語圏回答者が「読む」ことに困っている方が少ないという点である。漢字圏の学習者にとって、読むことへのハードルが低いことが見て取れる。

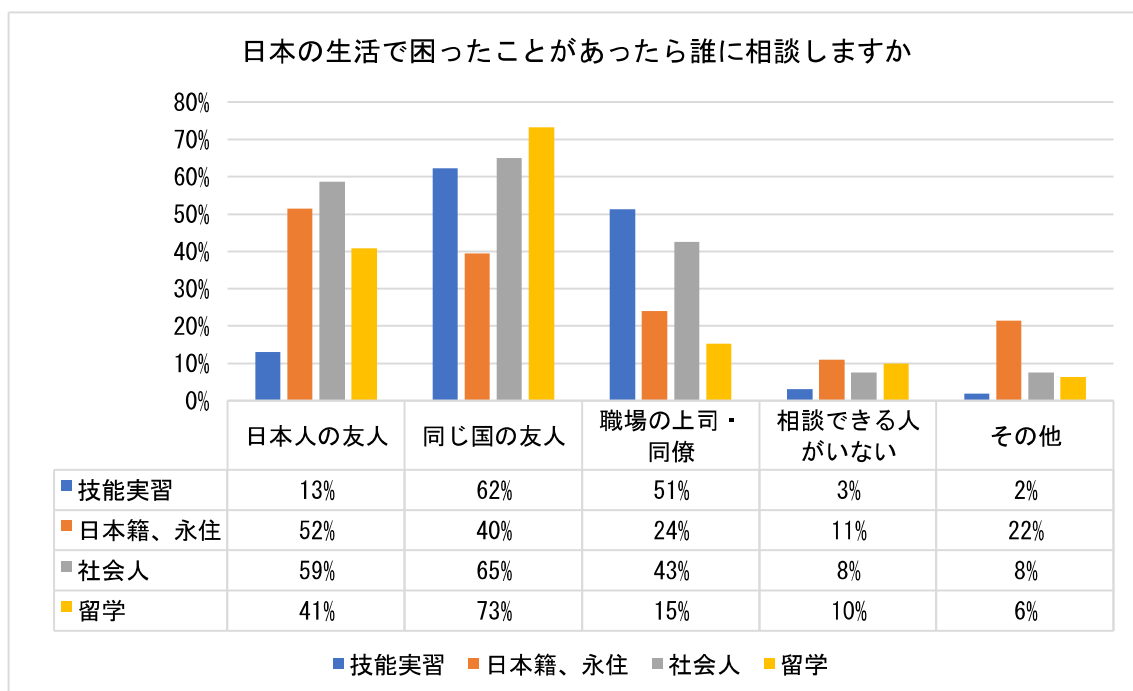
## ■ クロス集計及び考察（困ったときの相談者）



考察：

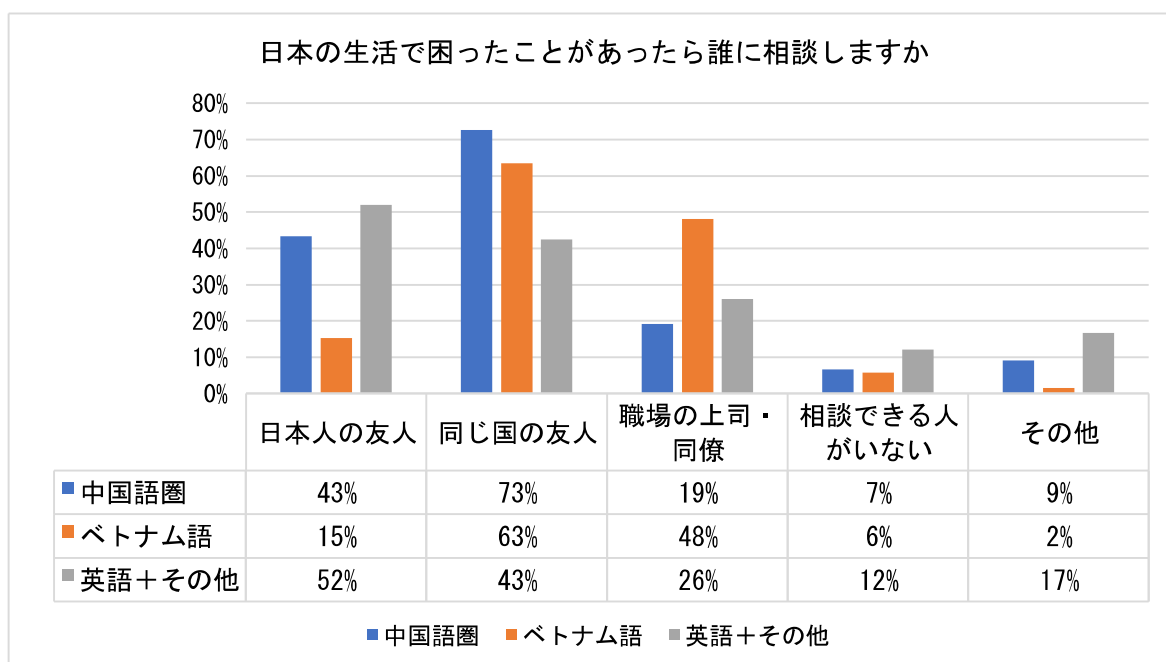
「同じ国の友人」に相談するのは最多であったのは、言葉や価値観の共通点が多い自国の友人が話しやすいという理由も考えられる。ただし、「日本人の友人と相談する」という項目は、滞在年数が長くなるほど、低くなる傾向があるが、最も多いのは来日 6 ヶ月未満の外国人である。

来日直後、多くの人は日本人の友人と相談する（相談するしかない状態とも言える）が、しばらくして日本社会のルールや文化への理解が深まるとともに、自国のルールや価値観の相違点に対して抵抗感が増し、日本人の友人に聞くことを選択しないという傾向があるのではないだろうか。そして、滞在年数が長くなると、また日本人に相談する人が増えている。すなわち、本当に相談できる人間関係が構築された状態になるまでには、一定の時間がかかることを表している可能性が考えられる。



考察：

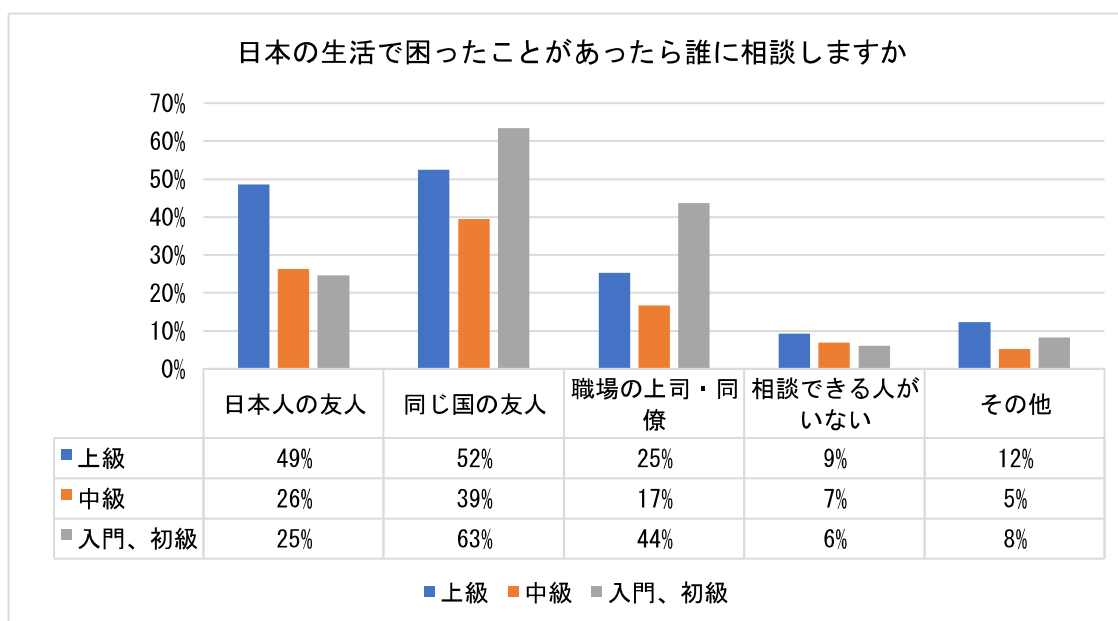
前問と同じく、日本の生活で困ったことがあった時の相談対象について、在留資格（立場）で見た分析である。「技能実習生」は日本人の友人を選択している人が極端に少なく、職場の上司や同僚が生活相談の重要な対象になっている。もちろん、職場での上司や同僚は日本人である可能性が高いが、職場以外の日本人との交流少ないのは明白である。この値からは、「技能実習生」は日本社会との接点が少ないことが考えられる。



考察：

今回のアンケート調査では、ベトナム人回答者の回答が多く、かつ「技能実習生」が多かったことから、前段の日本人の友人に相談することが少ない結果と一致している。

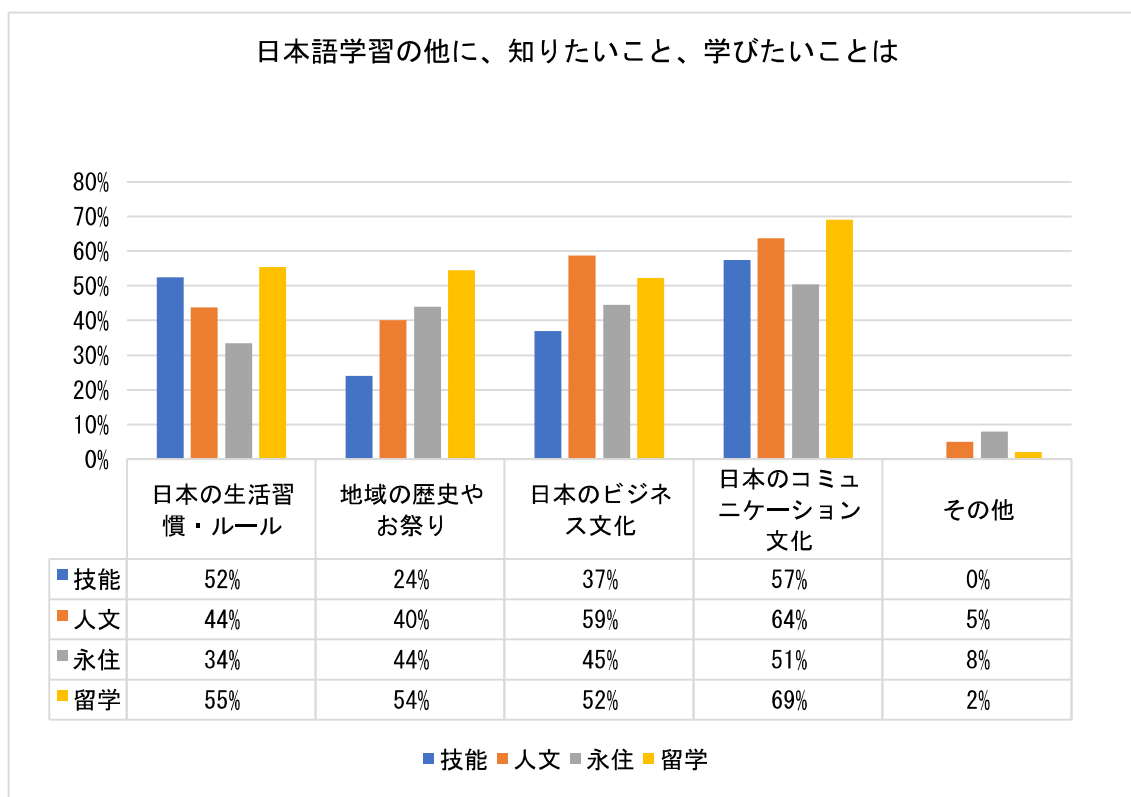
また、「英語＋その他」の回答者の国籍は多様で、同じ国の友人への相談は相対的に少ないという結果が出た。



考察：

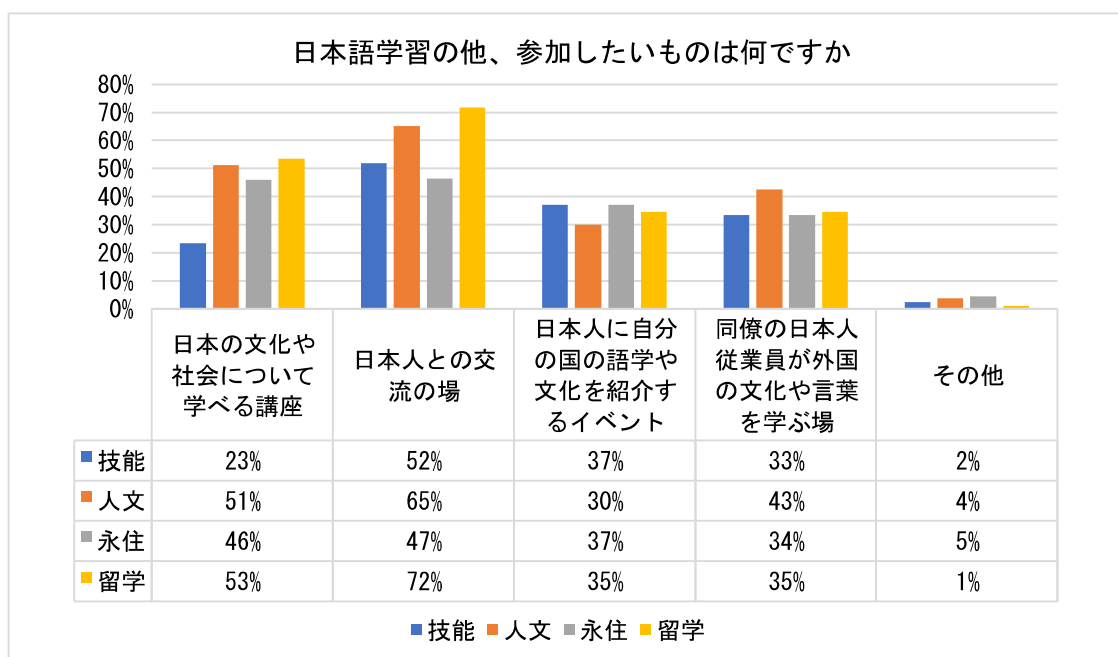
日本語レベルが上級の方は「日本人の友人」と回答した割合が最も高く、日本語が上手になれば、日本人の友人が作れる可能性が高くなると考えられる。

## ■ クロス集計及び考察（日本文化と社会に関する学習ニーズ）



考察：

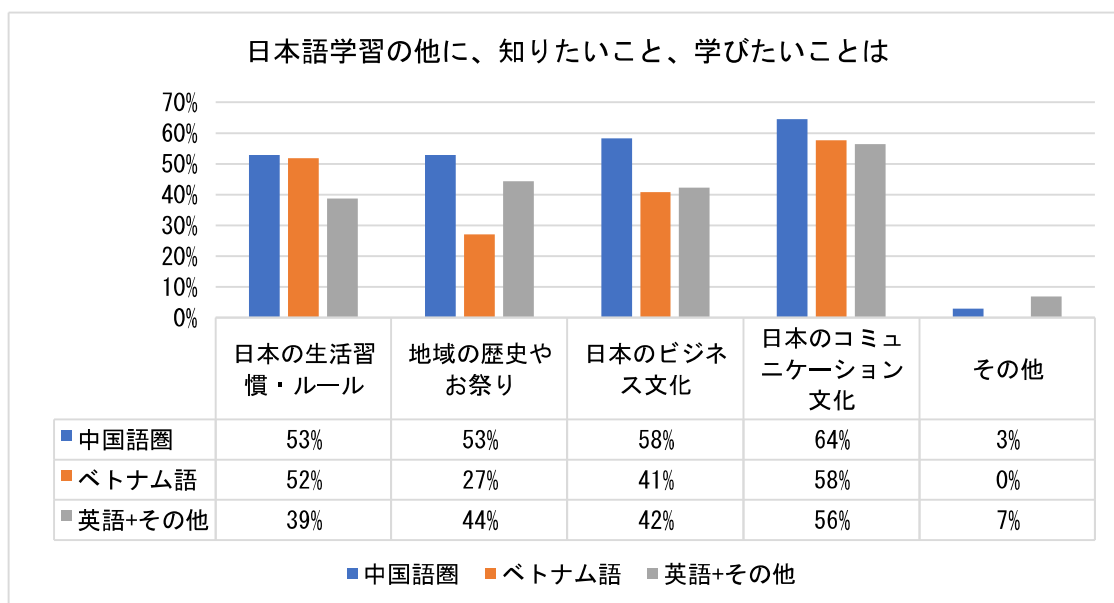
「日本のビジネス文化」「日本のコミュニケーション文化」という 2 つの項目では特に大きな差がなかった。「日本の生活習慣・ルール」の値が、永住者の回答で低い理由としては、日本滞在歴が長いことによるものであると思われる。技能実習生は、仕事に忙しく、日本の歴史や祭りに注目する余裕がない可能性があると思われる。



考察：

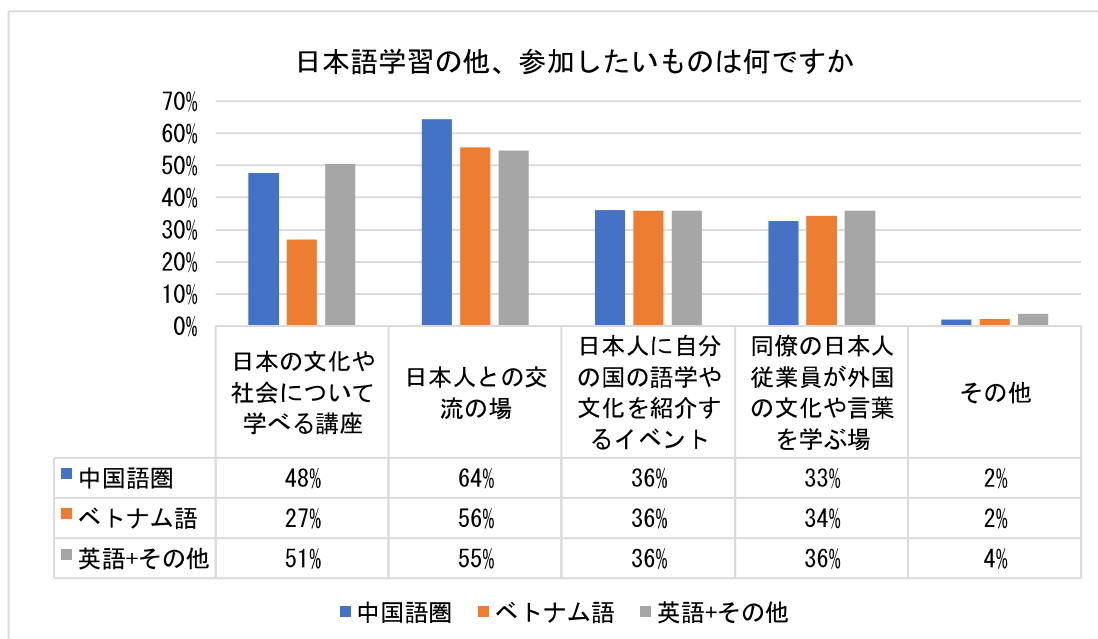
全体的には大きな差がなかったが、技能実習生は「日本の文化や社会について学べる講座」についての興味が少ないことが分かった。職場で使えるスキルや知識を身につけることを優先していると考えられる。





考察：

前問と同じく、ベトナム人回答者は「地域歴史やお祭り」に興味が少ないことが分かる。共通して関心が高いのは「日本のコミュニケーション文化」である。その他の選択肢に大きな差がないが、「日本のビジネス文化」に最も興味を示したのは中国語圏の方である。



考察：

前問と同じく、ベトナムの方は「日本の文化や社会について学べる講座」に興味が少ないことが分かった。技能実習生の多くのベトナム人は、他の回答者と比較して、日本語学習ニーズや生活などに大きな違いがあると考えられる。そのニーズを満たすためには、特別なカリキュラム対応が必要であると思われる。

## 4. 参考（設問シート）

### 企業向けアンケート

#### 外国人従業員の日本語学習に関するアンケート（案）

次ページ以降のアンケートにご協力をお願いします。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfdg1Yr5uHNIHGIRgTx\\_TGpQc2D5KUiYkNu0BMitBAHmIMqMw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfdg1Yr5uHNIHGIRgTx_TGpQc2D5KUiYkNu0BMitBAHmIMqMw/viewform)



このアンケートは（公財）京都市国際交流協会が京都市と文化庁及び京都産学公連携海外人材活躍ネットワークの協力を得て実施する「京都におけるkokoka日本語教育推進事業」運営の参考にさせていただきます。当事業は外国人従業員が各職場や地域でやりがいを持って働き、地域での生活が充実することにつなげていくことを目的としています。企業・従業員の皆様からの回答をお待ちしております。

（kokoka=京都市国際交流会館の愛称）

「京都におけるkokoka日本語教育推進事業」 実施する主な事業（予定）
○オンラインkokoka日本語クラス 【概要】既存の遠隔ツール（Zoom等）を活用しながら「オンラインkokoka日本語クラス」を開催します。ゼロ初級（初めて日本語を学習する人）から対象とし、レベルに応じて学習者（外国人従業員）と指導者のマッチングをおこない、時間帯などは学習者のニーズに合わせて調整し、オンラインの利点を生かした柔軟な対応とします。また、地域日本語教育コーディネーターを配置（当協会が認定し配置予定）し、日本語指導のレベルアップも目指します。
○kokoka日本語コミュニケーションルーム（オンライン版・対面型） 【概要】kokokaの日本語コミュニケーションルームにおいて、自然な日本語を学ぶと共に地域の方々と交流する機会を設けてコミュニケーション能力の向上を図ります。テーマ別自由会話レッスンを基本とし、オンライン以外にも、対面式の交流機会も設けます。（テーマの例） 京都の歴史や伝統、日本のビジネスマナー、世界の文化や社会、トレンドやあなたの故郷を教えてください等。また、企業の外国人労働者の担当者にも参加してもらい幅広い交流を図ります。
○外国人労働者受入サポート事業（既存事業の活用） 【概要】外国人労働者を対象とした各種相談事業及び、外国人労働者と一般市民との交流を促すため地域社会との接点を提供します。

文化庁の協力は最長5年間ですが、当該事業は5年で終わるのではなく、外国人従業員を雇用されている企業の皆様の協力を得ながら継続的に実施する計画です。

※このアンケート内容の使用目的について

文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環として実施するもので、ご記入いただいた内容は当事業の目的にのみ使用します。ご協力いただきましたアンケートの結果は集計後お知らせいたします。

- ・外国人人材の日本語教育の実態に関わる集計および統計的分析のため
- ・京都で外国人を雇用する企業及び社員の皆様に提供する事業をより充実したものにするため

■企業様情報

企業名		
エリア	<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府下 <input type="checkbox"/> その他（                      ）	
所在地	〒	都道府県
業種	<input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 金属加工 <input type="checkbox"/> 電子・電気 <input type="checkbox"/> 食品加工 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 農林水産 <input type="checkbox"/> 介護 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他（                      ）	
総従業員数	<input type="checkbox"/> 1～20名 <input type="checkbox"/> 21～50名 <input type="checkbox"/> 51～100名 <input type="checkbox"/> 101名～150名 <input type="checkbox"/> 151名～200名 <input type="checkbox"/> それ以上	
回答担当部署		
回答ご担当者氏名		
ご連絡先	TEL	
	E-mail	

■外国人従業員（特定技能、技能実習生含む）の雇用状況について

問1	現在、外国人従業員を雇用していますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		→「はい」と答えた方  <b>外国人従業員数</b> <input type="checkbox"/> 1～10名 <input type="checkbox"/> 11～20名 <input type="checkbox"/> 21～30名 <input type="checkbox"/> 31～50名 <input type="checkbox"/> それ以上  <b>主な外国人従業員の出身国・地域</b> （                      ）  <b>外国人従業員の年代は？（複数選択可）</b> <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60歳以上  <b>外国人従業員の中で最も多い在留資格は</b> <input type="checkbox"/> 日本人配偶者 <input type="checkbox"/> 技能実習生 <input type="checkbox"/> 特定技能 <input type="checkbox"/> 留学生 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
		→「いいえ」と答えた方  <input type="checkbox"/> 今後は採用予定あり   →問3へ <input type="checkbox"/> 検討している   →問3へ <input type="checkbox"/> 今後もない   →問9へ <input type="checkbox"/> わからない   →問15へ



問11～問14は外国人従業員を雇用されている場合のみお答えください。		
問11	外国人従業員との 関わりについて (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 意思疎通が上手く取れている <input type="checkbox"/> 通訳翻訳ツールを利用してやりとりができています (ツール名: ) <input type="checkbox"/> 業務に関する相談が日常的にできています <input type="checkbox"/> 業務以外の地域との連携についてケアができています <input type="checkbox"/> その他 ( )
問12	これまで外国人従業員に関わる トラブルはありましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <b>トラブルの内容 (複数選択可)</b> <input type="checkbox"/> 従業員間のコミュニケーション <input type="checkbox"/> 地域でのコミュニケーション <input type="checkbox"/> 医療に関する問題 <input type="checkbox"/> 生活習慣の相違による問題 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <b>トラブルを把握された際の対応策について</b> <input type="checkbox"/> 職場として対応している <input type="checkbox"/> 他の従業員が善意で対応している <input type="checkbox"/> 外国人従業員本人に任せている <input type="checkbox"/> その他
問13	日本語の学習機会として 周辺の日本語教室や 日本語学校等を 把握していますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」と答えた方 a. 具体的な名前をご記入ください。 ( ) b. 活用していますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 今はしていないが、今後検討する <input type="checkbox"/> 今後も予定なし
問14	外国人従業員に対して必要と 思われる支援があれば ご記入ください	
問15	外国人と一緒に働くことについて、気になることがあればお聞かせください	

ご協力ありがとうございました。

アンケートに関するお問い合わせ先

<p>主催</p> <p>(公財)京都市国際交流協会 担当 濱屋・チヨン・廣川</p> <p>〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1</p> <p>kokoka京都市国際交流会館内</p> <p>Tel: 075-752-3511 Fax: 075-752-3510</p> <p>E-mail: office@kcif.or.jp Web: https://kcif.or.jp</p>	<p>協力 (集計)</p> <p>生田グローバル㈱ 担当 喬彬</p> <p>〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町6-79-5</p> <p>EDAアドバンスビル2F</p> <p>Tel: 075-286-3930 E-mail: mirai@ikutagroup.com</p> <p>Web: http://www.ikutagroup.com</p>
--	---



外国人向けアンケート

## 日本語学習に関するアンケート

以下のアンケートにご協力をお願いします。

【日本語】 <a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd3tz-oDZ7npaK88Jz1wBE3_3Ib_DvMpuXU1N_3h6Nvbt1I1g/viewform">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd3tz-oDZ7npaK88Jz1wBE3_3Ib_DvMpuXU1N_3h6Nvbt1I1g/viewform</a>	
【英語】 <a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe_750FdMomWDcw82ltl21_pPs-eEBYOEJbQMjFWXJsXqTbkg/viewform">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe_750FdMomWDcw82ltl21_pPs-eEBYOEJbQMjFWXJsXqTbkg/viewform</a>	
【中国語】 <a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScVABjIH99eE5Dnv2Wx1_hLdpaQQPQrBe6bK_E5xRexDW05xA/viewform">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScVABjIH99eE5Dnv2Wx1_hLdpaQQPQrBe6bK_E5xRexDW05xA/viewform</a>	
【ベトナム語】 <a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScHfMrK0sj4ZqKG_2U4dC5HONSVOMSATSMjIMO_kF7xq2wcg/viewform">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScHfMrK0sj4ZqKG_2U4dC5HONSVOMSATSMjIMO_kF7xq2wcg/viewform</a>	

このアンケートは（公財）京都市国際交流協会が京都市と文化庁及び京都産学公連携海外人材活躍ネットワークの協力を得て実施する「京都におけるkokoka日本語教育推進事業」運営の参考にさせていただくものです。当事業は在住外国人の方々が各職場や地域でやりがいを持って働き、地域での生活が充実することにつなげていくことを目的としています。多くの方々からの回答をお待ちしております。

（kokoka=京都市国際交流会館の愛称）

※このアンケート内容の使用目的について

文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環として実施するもので、ご記入いただいた内容は当事業の目的にのみ使用します。

■あなたについて教えてください。

問 1	年齢を教えてください。	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60歳以上
問 2	日本にどれくらい住んでいますか？	<input type="checkbox"/> 6ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 2年未満 <input type="checkbox"/> 3年未満 <input type="checkbox"/> 3年以上
問 3	今、どこに住んでいますか？	<input type="checkbox"/> 京都市内 <input type="checkbox"/> 京都府下 <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 4	ビザの種類は何ですか？	<input type="checkbox"/> 技能実習 <input type="checkbox"/> 特定技能 <input type="checkbox"/> 企業内転勤 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 技術・人文知識・国際業務 <input type="checkbox"/> 文化活動 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 特定活動 <input type="checkbox"/> 家族滞在 <input type="checkbox"/> 日本人配偶者 <input type="checkbox"/> 定住者 <input type="checkbox"/> 永住者 <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 5	国籍を教えてください	（ ）
問 6	今、働いていますか？ (アルバイトなども含む)	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		→「はい」と答えた方、 職種： <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 金属加工 <input type="checkbox"/> 電子・電気 <input type="checkbox"/> 食品加工 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 介護 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他（ ）

■日本語学習について

問 7	あなたの日本語のレベルについて	<input type="checkbox"/> 入門（ひらがな・カタカナが読めない） <input type="checkbox"/> 初級（簡単な挨拶ができる） <input type="checkbox"/> 中級（日常会話ができる） <input type="checkbox"/> 上級（新聞、テレビのニュースが理解できる） <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 8	日本語を学習する必要があるですか	<input type="checkbox"/> ある →問9へ <input type="checkbox"/> ない →問16へ
問 9	主に学習したい内容は 何ですか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 読み書き <input type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> ビジネス会話 <input type="checkbox"/> 敬語 <input type="checkbox"/> メールなどの書き方 <input type="checkbox"/> 試験対策 <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 10	日本語を学習する目的は 何ですか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 日常生活のため <input type="checkbox"/> 日本で働いているため <input type="checkbox"/> これから日本で働くため <input type="checkbox"/> 学校の授業のため <input type="checkbox"/> 学校に入学するため <input type="checkbox"/> 特に理由はない <input type="checkbox"/> その他（ ）



問 11	どこで日本語学習が したいですか？ <b>(複数回答可)</b>	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 日本語教室 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> その他（ ） その理由を書いてください。 （ ）
問 12	学習ができる時間帯は？ <b>(複数回答可)</b>	<input type="checkbox"/> 平日の朝 <input type="checkbox"/> 平日の昼 <input type="checkbox"/> 平日の夜 <input type="checkbox"/> 週末の朝 <input type="checkbox"/> 週末の昼 <input type="checkbox"/> 週末の夜 その理由を書いてください。 （ ）
問 13	日本語の授業料の目安は？ <b>(1時間の場合)</b>	<input type="checkbox"/> 500円まで <input type="checkbox"/> 1,000円まで <input type="checkbox"/> 1,500円まで <input type="checkbox"/> 2,000円まで <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 14	日本語が学習できる 教室や学校等を知っていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」と答えた方 a.具体的な名前を書いてください。（ ） b.習いに行ったことがありますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> まだ行ったことはないが、今後行ってみたい <input type="checkbox"/> 今後も行く予定なし
問 15	インターネットの接続が 可能な場所について <b>(複数回答可)</b>	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 公共のw-if <input type="checkbox"/> ネットカフェ <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> インターネットはできない
問 16	日本語のどの点に 特に困っていますか？ (2つだけ選んでください)	<input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 方言 <input type="checkbox"/> 特にない <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 17	日本語学習の他に、 知りたいこと、 学びたいことは？ <b>(複数回答可)</b>	<input type="checkbox"/> 日本の生活習慣・ルール <input type="checkbox"/> 地域の歴史やお祭り <input type="checkbox"/> 日本のビジネス文化 <input type="checkbox"/> 日本のコミュニケーション文化 <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 18	日本語学習の他、 参加したいものは 何ですか？ <b>(複数回答可)</b>	<input type="checkbox"/> 日本の文化や社会について学べる講座 <input type="checkbox"/> 日本人との交流の場 <input type="checkbox"/> 日本人に自分の国の語学や文化を紹介するイベント <input type="checkbox"/> 同僚の日本人従業員が外国の文化や言葉を学ぶ場 <input type="checkbox"/> その他（ ）
問 19	日本の生活で困ったことが あったら誰に相談しますか？ <b>(複数回答可)</b>	<input type="checkbox"/> 日本人の友人 <input type="checkbox"/> 同じ国の友人 <input type="checkbox"/> 職場の上司・同僚 <input type="checkbox"/> 相談できる人がいない <input type="checkbox"/> その他（ ）

問 20	日常生活や職場で日本人とのコミュニケーションで困っていることがあれば書いてください。	
問 21	生活（仕事）している中で、必要と思われる支援について書いてください。	
問 22	日本で外国人として生活することについて、気になることがあれば書いてください	
<p style="text-align: center;"><b>参考</b></p> <p style="text-align: center;"><b>「京都におけるkokoka日本語教育推進事業」</b></p> <p style="text-align: center;"><b>予定している事業</b></p>		
<p>○オンラインkokoka日本語クラス</p> <p>【概要】Zoom等を活用しながら「オンラインkokoka日本語クラス」を開催します。 レベルに応じて学習者（外国人従業員）と指導者のマッチングをおこない、時間帯などは学習者のニーズに合わせて調整し、オンラインの利点を生かした柔軟な対応とします。</p>		
<p>○kokoka日本語コミュニケーションルーム（オンライン版・対面型）</p> <p>【概要】kokokaの日本語コミュニケーションルームにおいて、日本の文化や社会について学べる機会を設けて日本語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。テーマ別自由会話を基本とし、オンライン以外にも、対面式の交流機会も設けます。</p> <p>（テーマの例） 京都の歴史や伝統、日本のビジネスマナー、世界の文化や社会、あなたの故郷を教えてください等 また企業の外国人労働者の担当者にも参加してもらい幅広い交流を図ります。</p>		
<p>○外国人労働者受入サポート事業（既存事業の活用）</p> <p>【概要】外国人労働者を対象とした各種相談事業及び、外国人労働者と一般市民との交流を促すため地域社会との接点を提供します。</p>		

ご協力ありがとうございました。

アンケートに関するお問い合わせ先

（公財）京都市国際交流協会 担当 濱屋（はまや）・チョン・廣川（ひろかわ）

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 kokoka京都市国際交流会館内

Tel: 075-752-3511 Fax: 075-752-3510

E-mail: office@kcif.or.jp Web: <https://www.kcif.or.jp>

京都市における kokoka 日本語教育推進事業  
日本語学習に関するアンケート 報告書

2021年2月24日 発行

発行

公益財団法人 京都市国際交流協会

〒606-8536 京都市左京区栗田口鳥居町 2-1

TEL 075-752-3511 FAX 075-752-3510 E-mail [office@kcif.or.jp](mailto:office@kcif.or.jp)

協力：生田グローバル株式会社